

さいたま市見沼田圃散策環境社会実験業務

報告書

平成23年11月

さいたま市

目 次

1. 業務の目的	1
2. 社会実験の概要	1
2. 1 車両通行制限社会実験	1
(1) 実験区間	1
(2) 実施期間	2
(3) 実施内容	2
2. 2 アンケート・ヒアリング調査	2
(1) 目的	2
(2) ヒアリング方法	2
(3) 調査票	3
(4) 配布（ポスティング）	5
3. 社会実験の実施	6
3. 1 準備	6
(1) 自治会への周知	6
(2) 周辺地域への周知	7
(3) 人員配置・安全管理	9
3. 2 実験の実施	10
4. アンケート調査結果	11
4. 1 回収状況	11
4. 2 回答結果	12
5. 散策環境の向上について	31
6. まとめと今後の課題	39
(参考資料) アンケート自由意見	40

1. 業務の目的

見沼田圃基本計画アクションプランにおいて、散策環境向上に向けた市民プロジェクトの検討を進めるにあたり、散策環境の快適性・安全性・利便性等を調査するため、車両通行止めを伴う社会実験を行い、アンケートをとりまとめ、プロジェクトの基礎資料を作成することを目的とした。

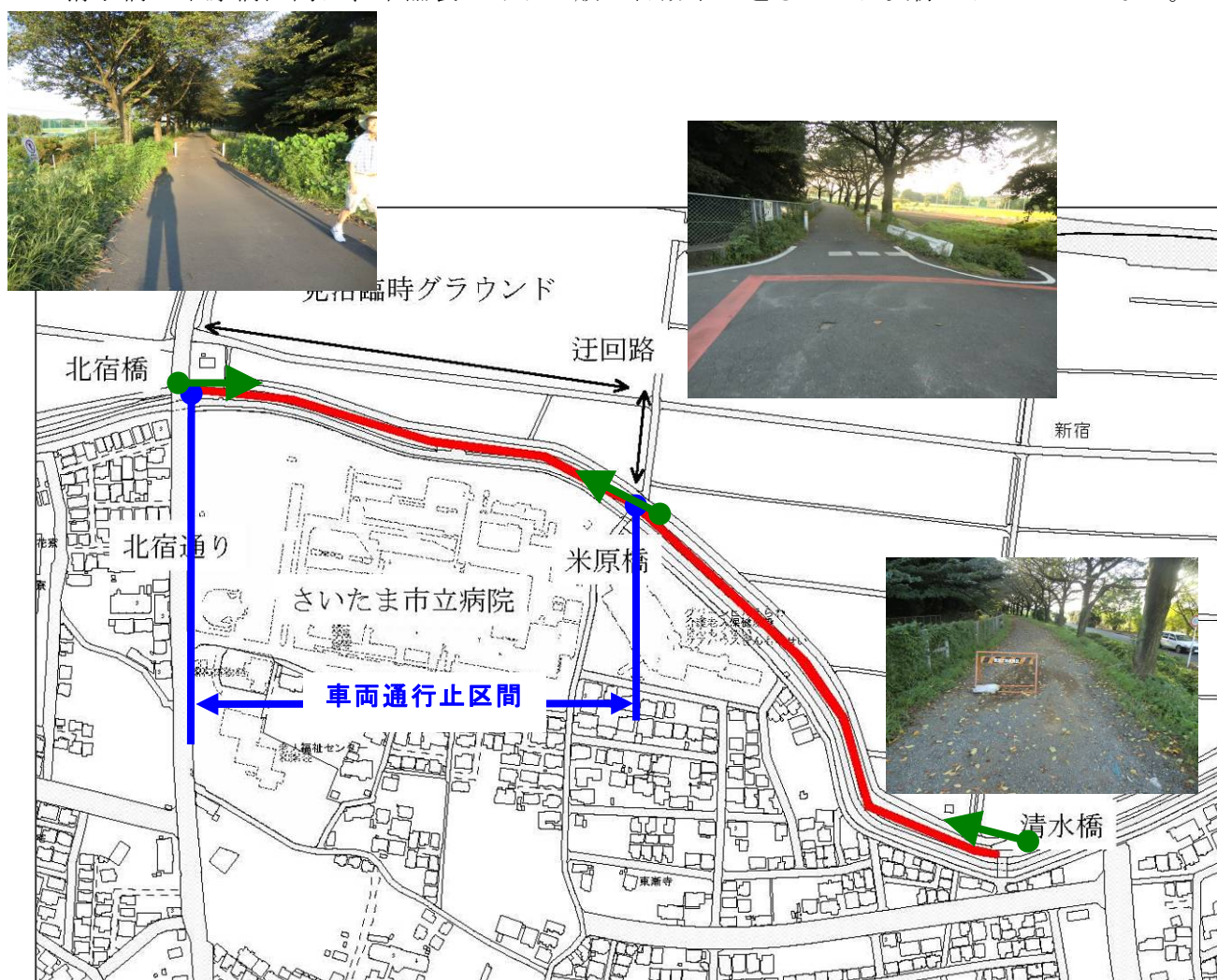
2. 社会実験の概要

2. 1 車両通行制限社会実験

(1) 実験区間

北宿橋～清水橋までの区間を対象としましたが、車両通行止めは北宿橋～米原橋の区間とした。

清水橋～米原橋区間は、未舗装であり一般の自動車が通ることは実際にはほとんどない。



← 写真撮影向き

(2) 実験期間

9月25日(日)～10月1日(土) 午前9時～午後5時

(3) 実験内容

上記の期間の時間内において、北宿橋～米原橋間を自動車通行止めとした(通行止め看板を立て、交通整理員が案内)。

2. 2 アンケート・ヒアリング調査

(1) 目的

自動車通行止めについて、当該区間及び周辺利用者がどのような意見を有するかを把握するとともに、来訪者及び周辺住民から見沼田圃全体の散策環境に関する意見を収集することを目的とした。

(2) ヒアリング方法

実験期間中に周辺を通行する歩行者や自転車利用者に対して、アンケート調査票をもとにしたヒアリングを行った。

ヒアリングを行った範囲は、実験対象区間を中心に、代用水西縁沿いを南北2～3kmと、実験区間周辺の農地や臨時グラウンド、東縁周辺までとした。

さいたま市見沼田圃^{たんぼ}散策環境社会実験・アンケート

さいたま市では、散策やウォーキングの場として要望が多い見沼田圃の散策環境の充実にむけて、一部区間において一般車両通行止めの社会実験を行い、その効果等について調査することといたしました。社会実験は、以下のとおり行っています。

期 間 9月25日(日)～10月1日(土) 9時～17時
通行止め区間 北宿橋～米原橋間(見沼代用水西側) 図参照

これに伴い、周辺道路を利用する、自動車、歩行者、住民の皆さんから、ご意見・ご感想を伺い、今後の検討のための資料とさせていただきます。

以下のアンケートにご回答いただき、**11月1日**までに、ハガキ部分を切り取り、ご投函ください(切手は不要です)

(問い合わせ先)

さいたま市役所 都市局都市計画部 みどり推進課
電話 048-829-1413 FAX 048-829-1979



Q1 あなたは、見沼田圃の中を通ることはありますか

(1) 車で通ることはありますか

- A 1. ある 2. ない
- B 主な目的は何ですか(2つまで選んでください)
 - 1. 通勤・通学 2. 業務 3. 買い物等 4. 余暇 5. その他
- C 頻度はどれくらいですか
 - 1. 毎日 2. 平日のみ
 - 3. 休日のみ 4. 月に数度

(2) 歩いて行かれることはありますか

- A 1. ある 2. ない
- B 主な目的は何ですか(2つまで選んでください)
 - 1. 通勤・通学 2. 業務
 - 3. 買い物等 4. レジャー
 - 5. その他
- C 頻度はどれくらいですか
 - 1. 毎日 2. 平日のみ
 - 3. 休日のみ 4. 月に数度

(3) 自転車で通ることはありますか

- A 1. ある 2. ない
- B 主な目的は何ですか(2つまで選んでください)
 - 1. 通勤・通学 2. 業務
 - 3. 買い物等 4. レジャー
 - 5. その他
- C 頻度はどれくらいですか
 - 1. 毎日 2. 平日のみ
 - 3. 休日のみ 4. 月に数度

郵便はがき

3 3 0 9 8 9 0

さいたま市浦和区常盤6-4-4

さいたま市役所みどり推進課
「見沼田圃散策環境社会実験」担当 行

お住まいはどちらですか？

- 1. 緑区 2. 見沼区 3. 浦和区
- 4. 上記以外のさいたま市内
- 5. さいたま市外

ご年齢

- 1. 20歳未満 2. 20～39歳
- 3. 40～59歳 4. 60歳以上

Q2 本社会実験の一般車両通行止め区間についてお聞きします

- (1) 通行止めにした区間（北宿橋～米原橋）を通ることはありますか
 1. ある 2. ない
- (2) この区間を一般車両通行止めになると、あなたは不便を感じますか？
 1. 特に不便は感じない 2. やや不便を感じる 3. 不便を感じる

Q3 見沼田圃（全体）の散策環境についてお聞きします。該当するものを選んでください。

- (1) 交通安全についてどう思われますか
 1. 自動車と歩行者がまじっていて危ないと思うことがある
 2. 自転車と歩行者がまじっていて危ないと思うことがある
 3. 特に危ないと思うことはない 4. その他（ハガキにご記入ください）
- (2) 利便性・快適性についてどう思われますか。
 A 案内標識の掲示は
 1. 多い 2. 少ない 3. わかりやすい
 4. わかりにくい（ハガキに具体的にご記入ください）
 B 休憩場所は
 1. 不足している 2. ちょうどよい 3. 多い
 4. 不要 5. その他（ハガキにご記入ください）



ボールペンあるいはサインペンでの記入をお願いします。

Q1 当てはまる番号を記入してください。

(1) A B C
(「1. ある」と答えた方のみ、B、Cにお進みください)

(2) A B C
(「1. ある」と答えた方のみ、B、Cにお進みください)

(3) A B C
(「1. ある」と答えた方のみ、B、Cにお進みください)

当てはまる番号を記入してください。

Q2 (1) (2)

Q3 (1)
その他を選んだ方はご記入ください。

(2) A
わかりにくいを選んだ方は具体的にご記入ください
 B
その他を選んだ方はご記入ください。

Q4 1番 2番 3番

Q5

ご回答、ありがとうございました。

注意：表面にも記入欄がございます

Q4 見沼田圃の散策環境を向上するためには、何が必要だと思いませんか。あなたが思う上位3つまで選んでください。

1. トイレ 2. 水のみ場 3. ベンチ
4. あづま屋 5. 自動車と歩行者の分離
6. 道しるべ 7. 自転車と歩行者の分離
8. 地図（案内板）の充実
9. 散歩マップ（紙） 10. 舗装への改良
11. 見沼代用水のフェンスなどの修景
12. その他（ ）

Q5 その他“見沼田圃”に関してのご意見

回答は、ハガキに記入して、切り取ってお送りください。
 ハガキの表で、年代やお住まいの地域を選ぶのを忘れないでください！

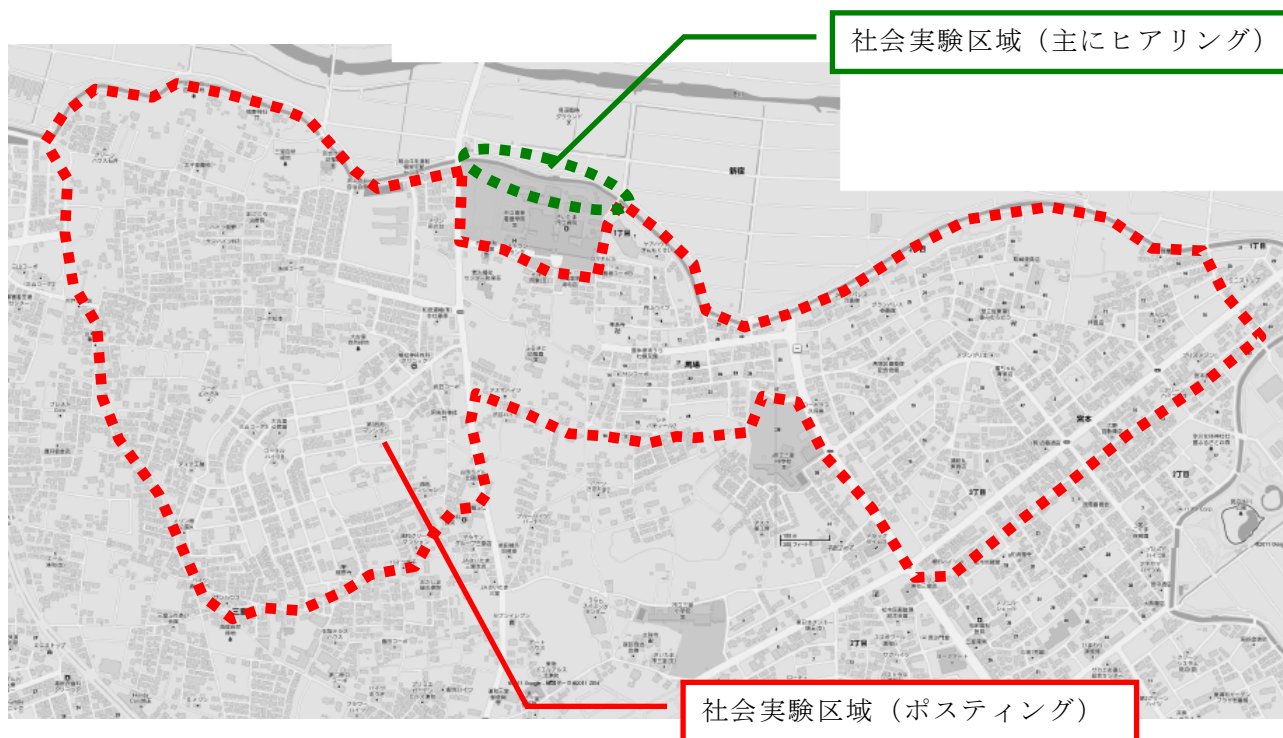


(4) 配布 (ポスティング)

実験期間中に、周辺地域居住者にアンケート調査票をランダムポスティングにより配布し郵送 (ハガミ) にて回答を得た。

配布数は、約 1,800 通である。

概ねの配布範囲は、以下の図に示すとおりである。



3. 社会実験の実施

3. 1 準備

(1) 自治会への周知

社会実験の実施に際し、事前に周辺自治会に周知した。

三室地区・馬場地区お住まいの皆様へ

全員参加！乗りさろう 電力危機！！
節電にご協力をお願いします

都計み 号
さいたま市都市局都市計画部
みどり推進課長 安田 昌司

さいたま市見沼田圃散策環境社会実験について（お知らせ）

日頃、市政の発展並びに、見沼田圃の保全、活用、創造に向けては、格別なご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

このたび、本市みどり推進課では、見沼田圃区域における散策環境向上を検討するにあたり、散策環境の快適性・安全性・利便性等の観点から下記の通り、車両の通行規制を伴う、社会実験を行います。つきましては、ご理解ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

記

- ・時 期：平成23年9月下旬
(9月25日(日)～10月1日(土))を予定 雨天決行)
- ・時 間：午前9時～午後5時
- ・区 間：さいたま市立病院北側、見沼代用水西縁道路(北宿橋～清水橋 裏面参照)
※北宿橋～米原橋の用水沿い管理用道路は、車の進入を原則禁止します。(自転車は通行可)
- ・その他：期間中、散策中の方、及び付近の住民の方には、アンケートを行う予定です。今後、アンケート用紙を配布いたしますので、ご協力をお願いいたします。

以上

ご不明な点がございましたら、下記の担当課まで、ご連絡ください。

担当課
さいたま市都市局都市計画部
みどり推進課見沼田圃係 秋谷・山田・齋村・木村
電話：048-829-1413 FAX：048-829-1979
E-mail：midori-suishin@city.saitama.lg.jp



(2) 周辺地域への周知

周辺地域及び、当該区間通行者（自動車、自転車、歩行者）に対して、実験の実施の事前告知と、実験期間中の周知を図るため、看板を周辺 20 箇所に設置した。



(設置位置を数字に変えて、写真と対比する)



①清水橋北



②清水橋東



③清水橋西



④米原橋 (西 1)



⑤米原橋 (西 2)



③米原橋東



⑦米原橋南



⑧米原橋（通行止区間端）



⑨臨時グラウンド南



⑩新宿十字路



⑪臨時グラウンド西側



⑫北宿大橋（1）



⑬北宿大橋（2）



⑭信号北側



⑮信号交差点



⑯実験区間入り口（1）



⑰実験区間入り口（2）



⑱実験区間入り口（3）



⑲北宿通り



⑳北宿橋北側

(3) 人員配置・安全管理

①調査員配置

以下の調査人員が現地においてヒアリング調査にあたった。

調査員は、当該区間を中心に、南北2～3kmの区間および、代用水東縁までを調査区域として、徒歩で移動し、歩行者及び自転車利用者にヒアリング調査を行った。

	25日	26月	27火	28水	29木	30金	1土	
AM	◎S	◎S	◎S	◎S	◎S	◎S	◎S	/
	A	A	A	A	A	A	A	
	B	B	B	B	B	B	B	
	C						C	
PM	同上	◎C	◎C	◎C	◎C	◎C	同上	/
		D	D	D	D	D		
		E	E	E	E	E		
人数	5人日	3人日	3人日	3人日	3人日	3人日	5人日	25人日

◎連絡責任者 S：管理主任

上表の他、27日～29日の3日間は、埼玉大学のインターンシップ生が3～4名参加し、周辺区間でのヒアリング調査に加わった。

②交通整理要員配置

交通整理要員4名を配置し、下図の地点に配置した。

実験開始後、清水橋から進入する車がないことから配置の必要性は低いと判断し、米原橋2名、北宿橋2名の配置として、安全管理の徹底を図った。



3. 2 実験の実施



①北宿橋側通行止めの様子



②米原橋 通行止めの様子



③ヒアリング調査の様子



④ヒアリング調査の様子（2）



⑤北宿橋通行止前の様子



⑥北宿橋を横断する歩行者と自転車

4. アンケート調査結果

4. 1 回収状況

ヒアリング及びポストリング配布の回答数は以下のとおりである。

ヒアリングにおいては、ランニングトレーニングをしている方を除くと、回答を断られた方は1日に2～3名程度であり、ほとんどの方が回答してくださった。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| ①ヒアリング | 287人（通） |
| ②ポストリング郵送返信 | 331通（1,800通配布 回収率 18.4%） |

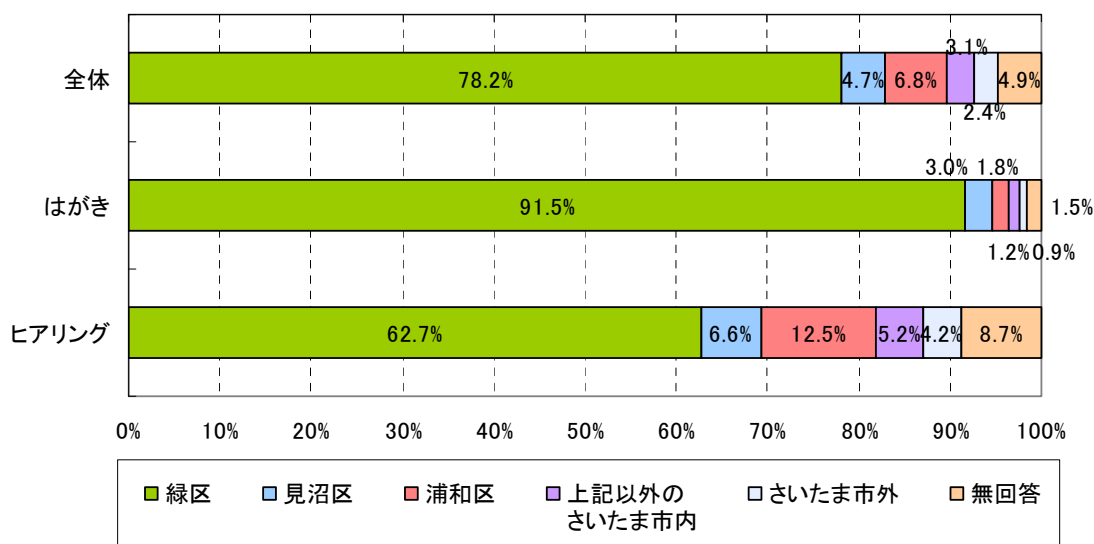
なお、ポストリングした調査票のハガキ郵送返信期間は、11月1日（火）までとした。

4. 2 回答結果

(1) 回答者の居住地 (Q: お住まいはどちらですか?)

全体では、緑区にお住まいの方が78%を占めた。ハガキ回答は、9割以上が緑区である。

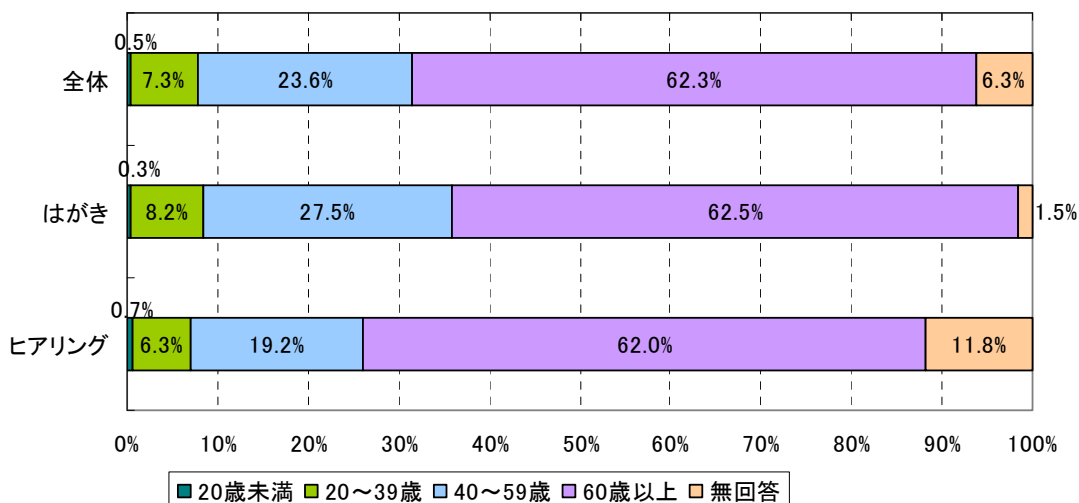
ヒアリングでは、浦和区の方が1割を超え、見沼区やそれ以外のさいたま市内の方、さいたま市外の方もそれぞれ4~6%ほど回答された。



(2) 回答者の年齢層 (Q: おいくつですか?)

回答者の6割強を60歳以上が占めた。

20歳未満は1%以下となり、今回の回答の9割以上が40代以上から得られたことになる。

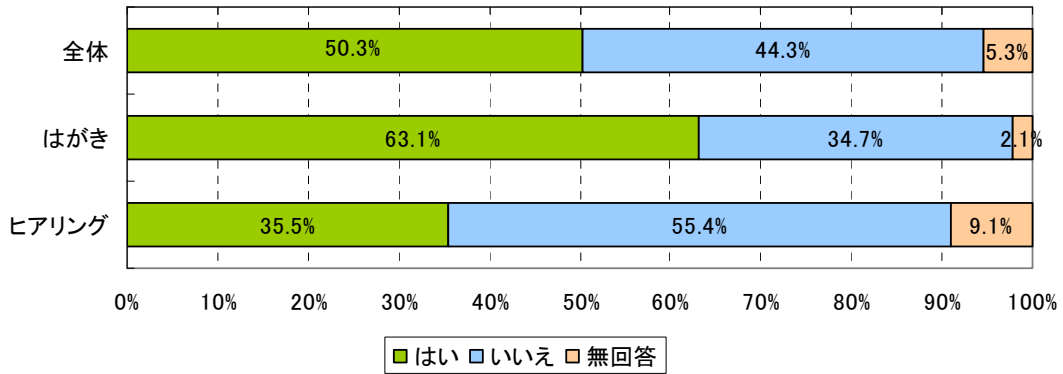


(3) 見沼田圃の自動車走行の有無

①車で通ることの有無（Q：見沼田圃の中を車で通ることはありますか）

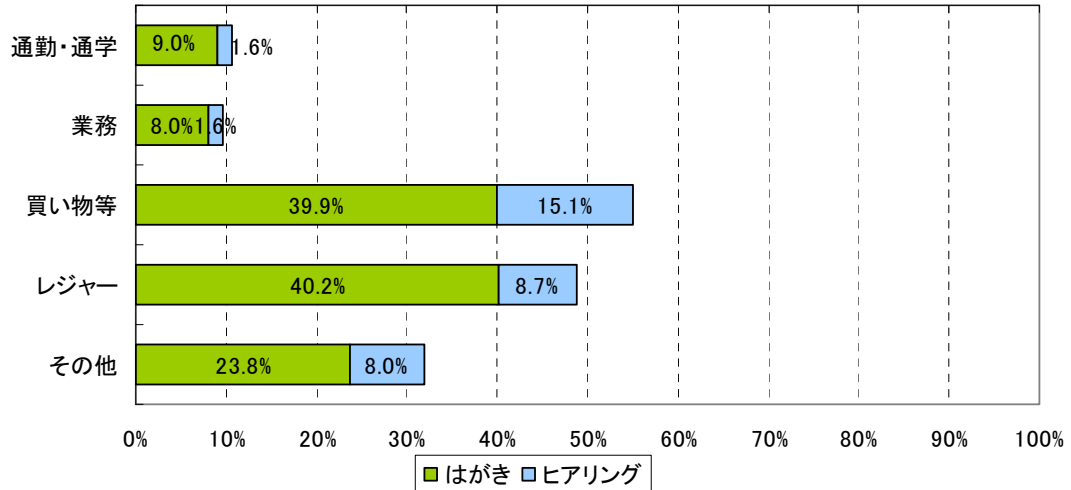
半数（50.3%）の方が見沼田圃の中を車で通ることがあった。

回答者のほとんどが歩行者であるヒアリングの回答結果では、車でも通る方が35.5%とはがき回答に比べて低くなった。



②主な目的（Q：主な目的は何ですか 2つまで選んでください）

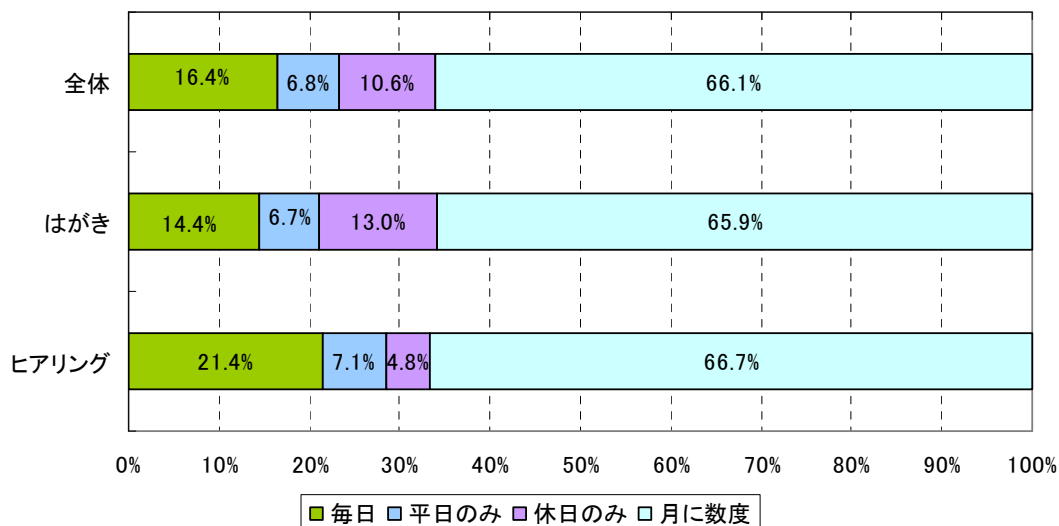
買い物等とレジャーが多くなった。



③頻度等（Q：頻度はどれくらいですか）

頻度は月に数度と回答した方が2／3を占めた。

ヒアリングで個別に内容を伺ったところ、大型店舗に買い物に行く時や、見沼田圃および周辺にある公園等にスポーツに行く時、遊びに出かける時に車で通るという意見が多く聞かれた。

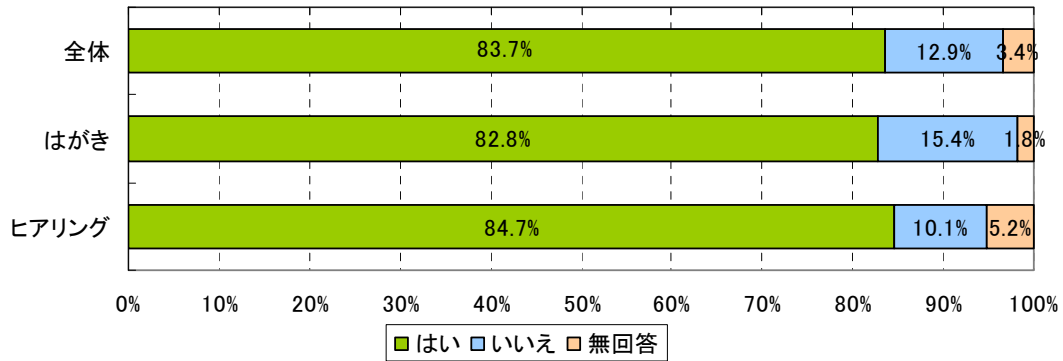


(4) 徒歩による見沼田圃通行の有無

① 徒歩による通行の有無 (Q: 歩いて行かれることはありますか)

見沼田圃を歩かれる方は、8割を超えた。

ヒアリング回答者の中で「徒歩による来訪がない」と回答した方は、自転車の方や、周辺の農地に車で農作業にこられている方などである。



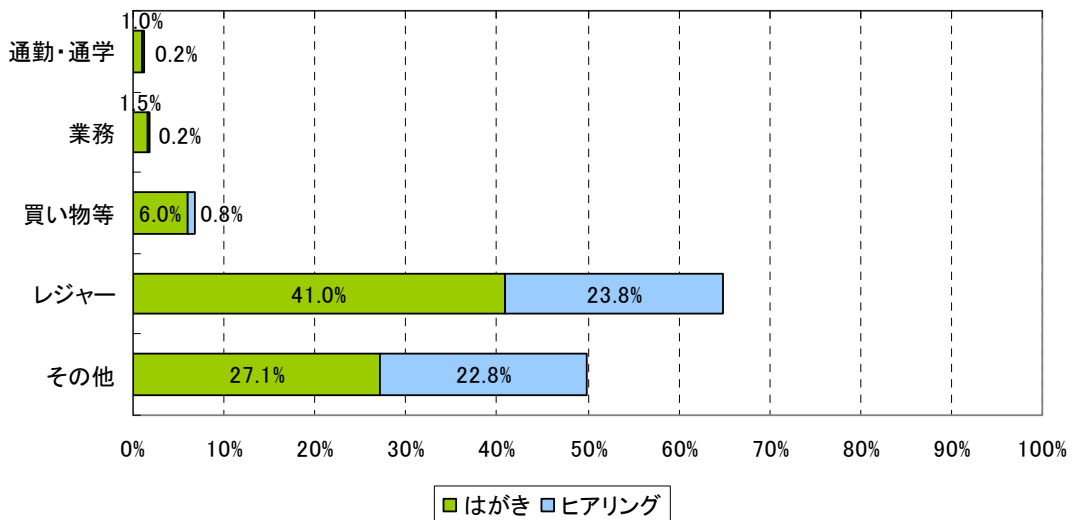
② 主な目的 (Q: 主な目的は何ですか 2つまで選んでください)

主な目的は、レジャーの方が6割を超えた。

レジャーの内容について、ヒアリングで伺ったところ、「散歩」という方がほとんどであった。

「その他」とされた方も、ヒアリングでは「健康のためのウォーキング」という方が多く、散歩やウォーキングといった「歩くことが目的」の方がほとんどであった。

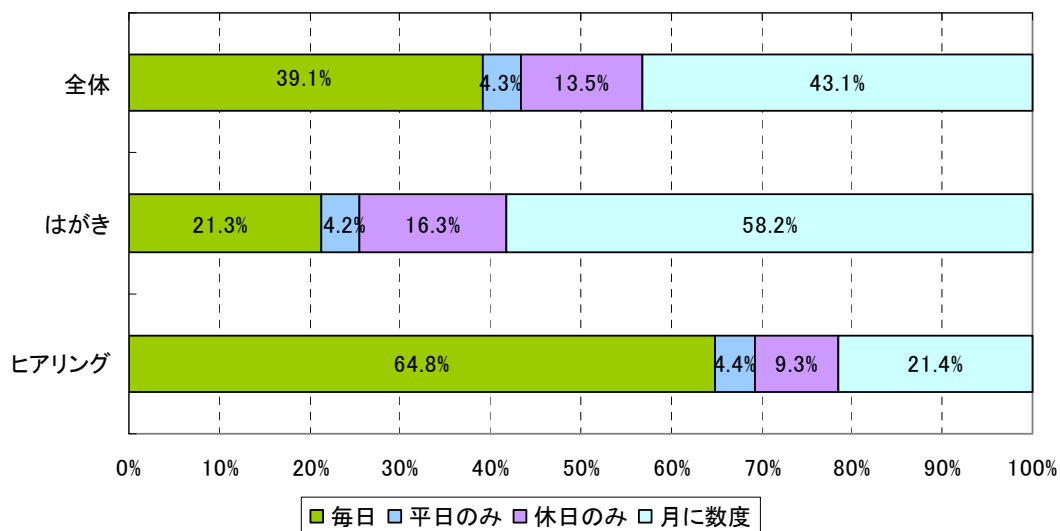
また、ヒアリングで「なぜここを歩くのか」を伺ったところ「季節感が感じられてすばらしい」、「緑が多くて気持ち良い」などの答えが多数寄せられた。



③通行頻度について（Q：頻度はどれくらいですか）

徒歩利用者のうち、毎日の方が、4割近くとなった。

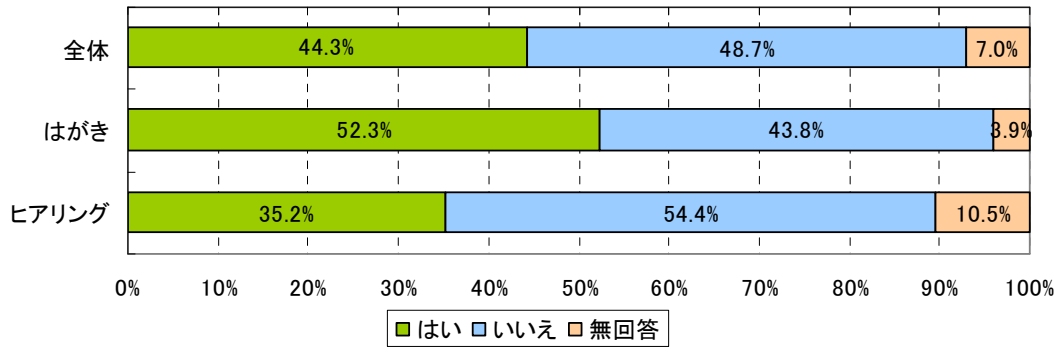
特に、ヒアリング回答者では「毎日」という方が多く、およそ65%に達した。



(5) 自転車による見沼田圃通行の有無

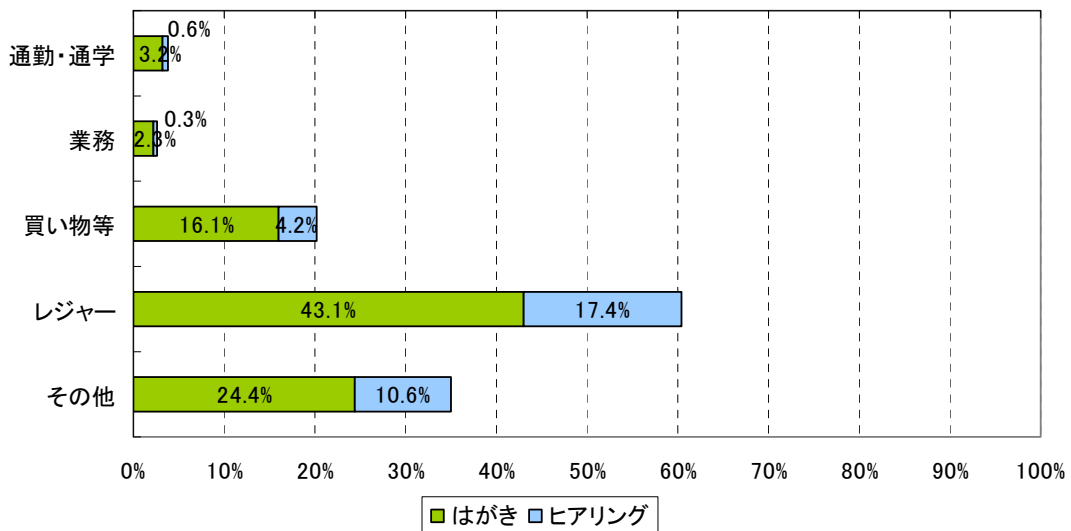
① 自転車による通行の有無 (Q: 自転車で通ることはありますか)

自転車で通ることがあるとされた方は、半数に近い44%になった。
 周辺居住者の方では、自転車利用者が5割を超えた。



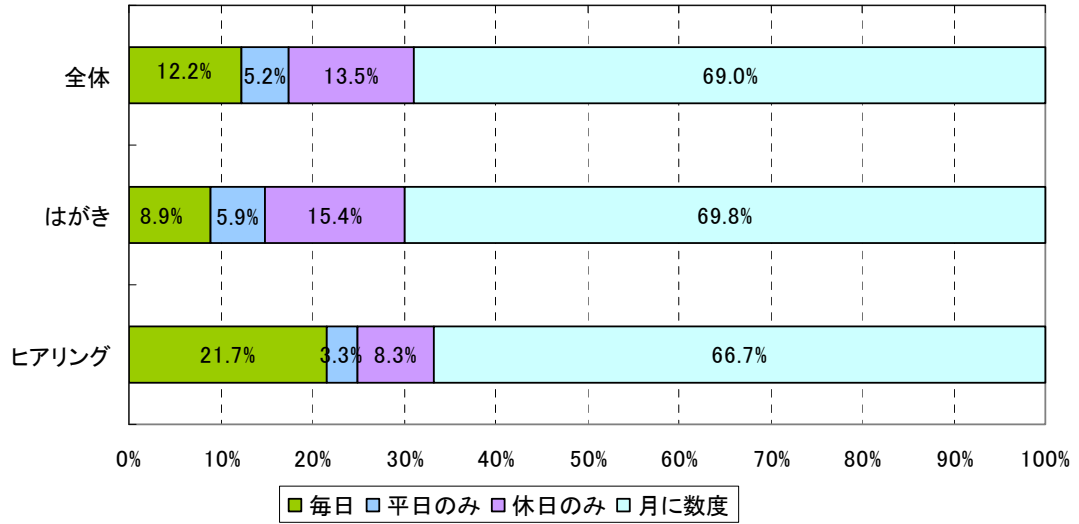
② 通行の目的 (Q: 主な目的は何ですか 2つまで選んでください)

主な目的は、レジャーの方がおよそ6割、その他が3割、買い物が2割程度となった。
 レジャーの方について、ヒアリングで内容を伺ったところ、「サイクリング」という方が多かった。
 このほか、大崎公園や、野球場などに行くとした回答があった。



③頻度等（Q：頻度はどれくらいですか）

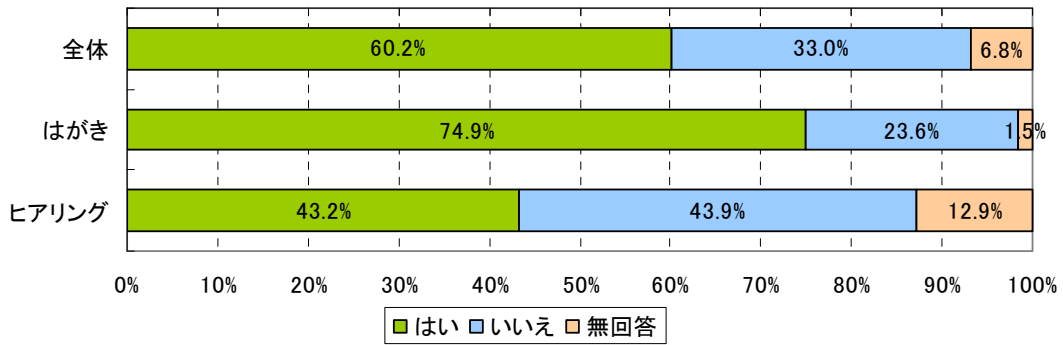
頻度としては、月に数度という方が多く、自動車による利用と同様の傾向となった。



(6) 一般車両通行止めについて

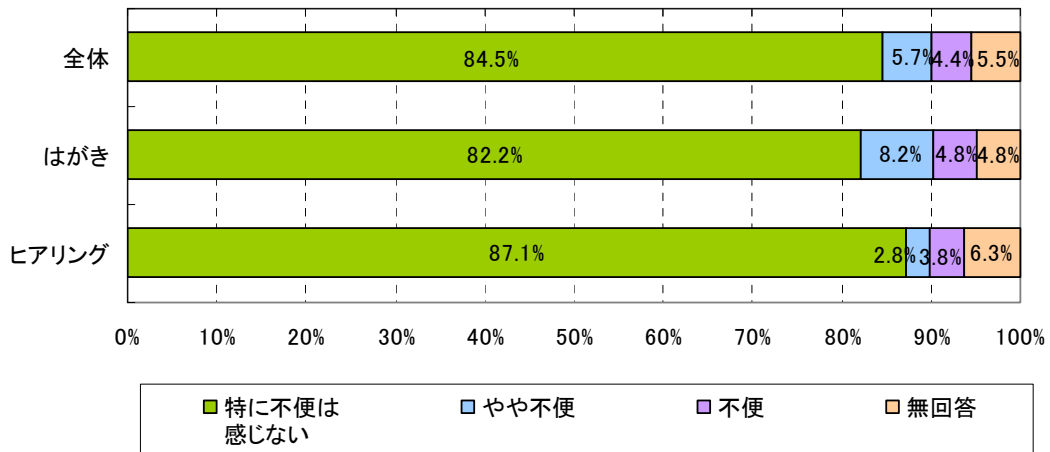
①実験区間の通行の有無 (Q: 通行止めにした区間 (北宿橋～米原橋) を通ることはありますか)

本実験区間を通ったことのある方が6割であった。
 周辺居住者の方の7割が本実験区間を通行していた。



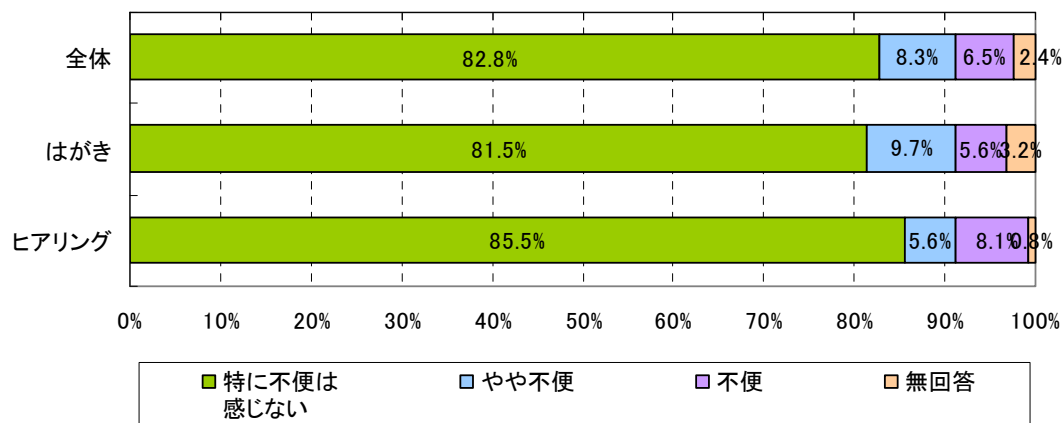
②この区間を一般車両通行止めにする、あなたは不便を感じますか？

車両通行止めにするに、不便を感じない人が8割を超えました。
 やや不便と感じる方は、居住者の方のほうが多くなりました。
 不便とした方について、ヒアリングで理由を伺ったところ「ぎんもくせいに親が住んでいて、よくここを通るから」という回答が得られた。

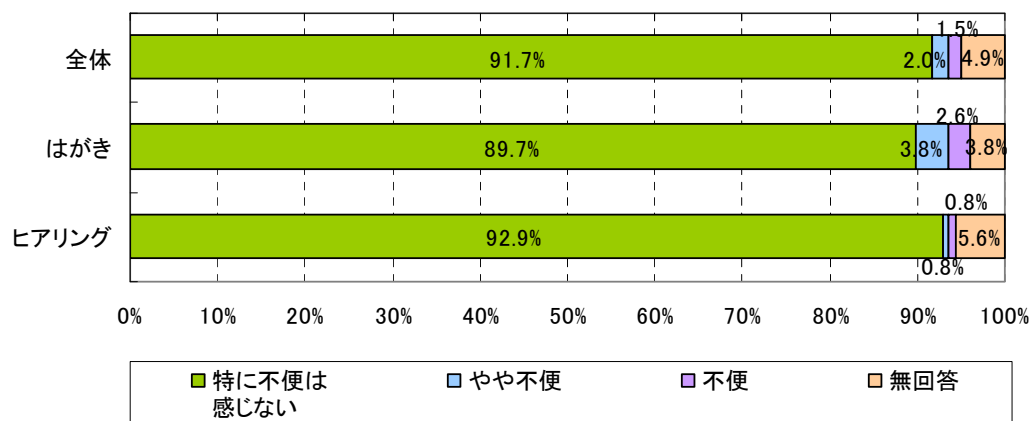


また、この区間を通る人と通らない人で比較したところ、通らない人の方が「不便を感じない」割合が高くなった。

■通る人



■通らない人

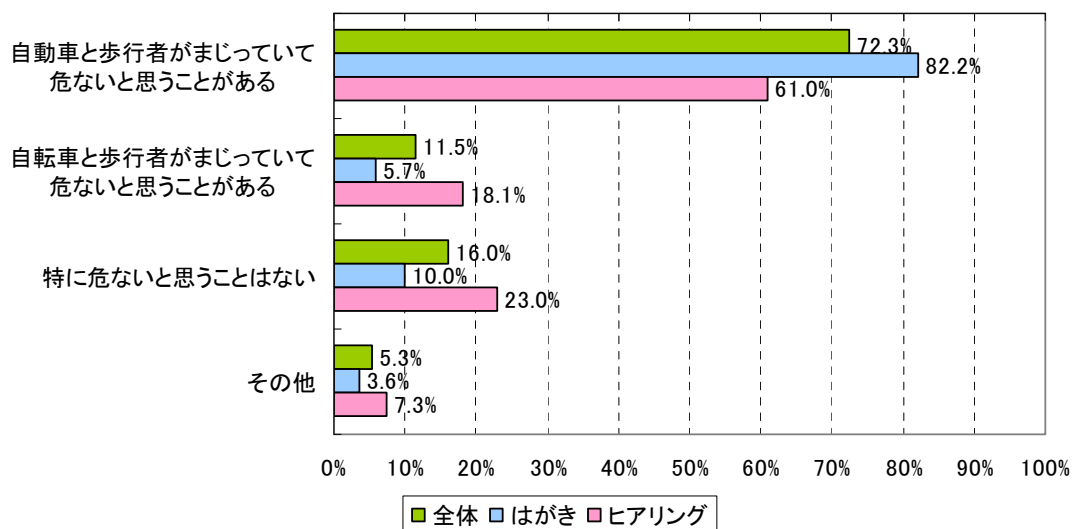


(7) 見沼田圃（全体）の散策環境のうち、交通安全についてどう思われますか

自動車と歩行者の錯綜を危険だと感じる方が7割を超え、はがき回答者の割合が高くなった。

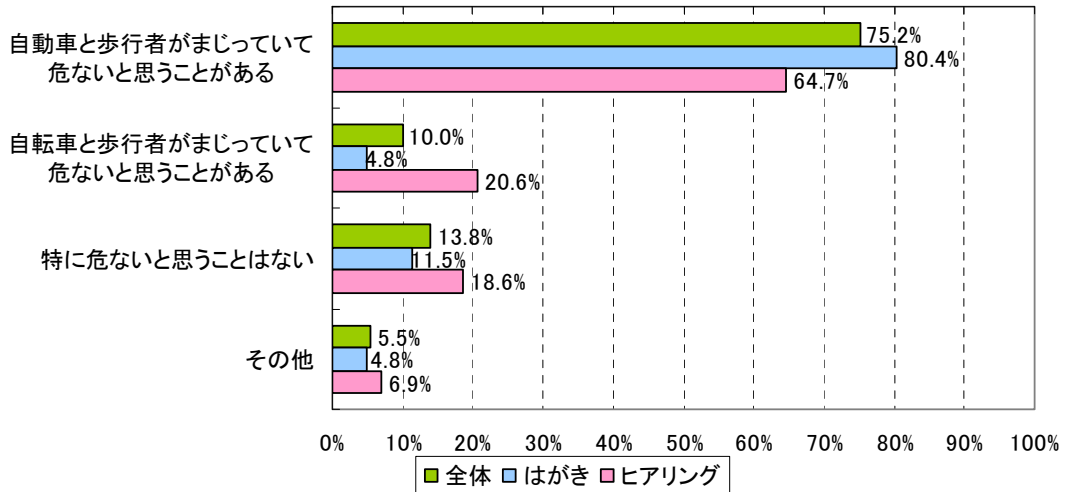
一方、特に危ないと思うことがないとした人も全体で16%、ヒアリング回答者では23%に達した。

また、自転車と歩行者の錯綜の危険性を感じた方は全体で11%となり、ヒアリング回答者の割合が高くなった。

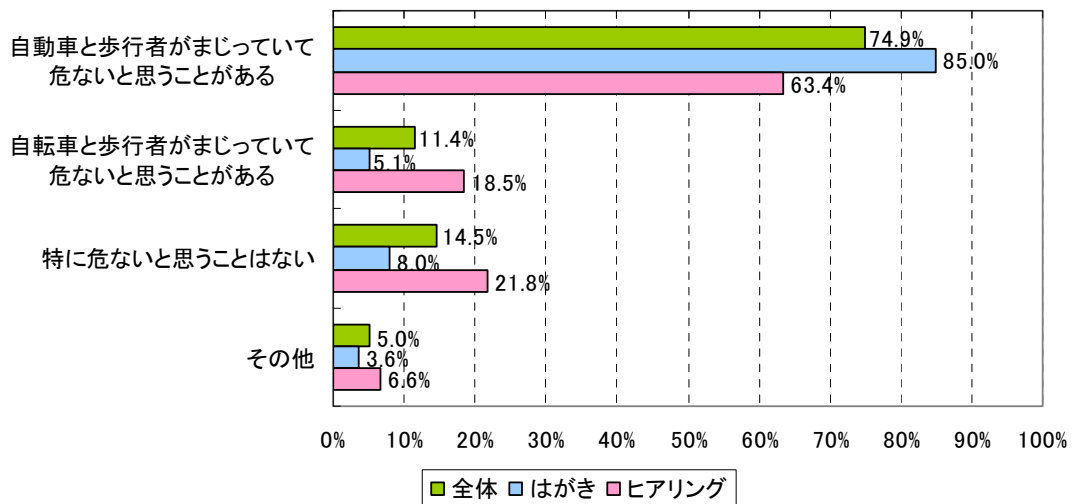


車で通る人と、徒歩で通る人をわけて回答をみたところ、傾向に大きな差異は認められなかった。

■車で通る人



■徒歩で通る人



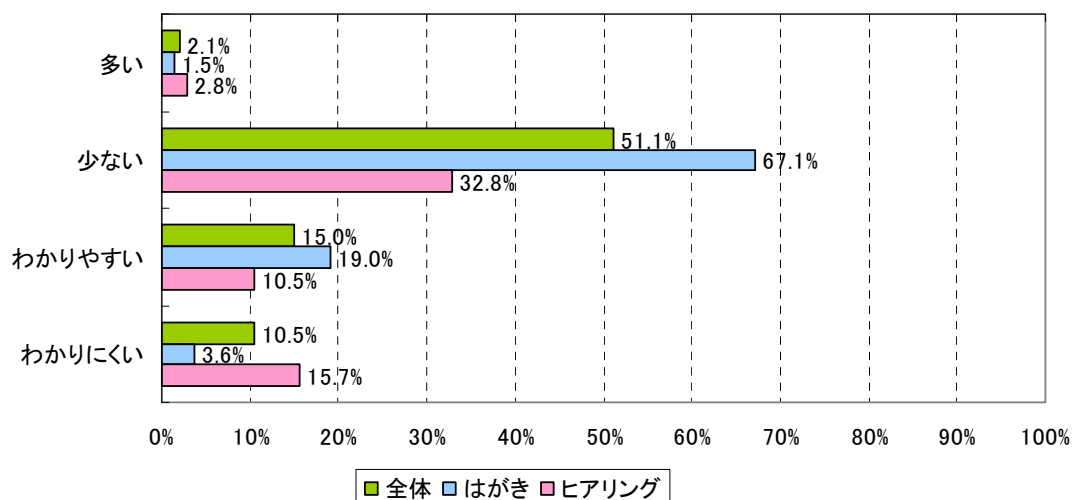
(8) 利便性・快適性についてどう思われますか。

①案内標識の掲示について

案内標識については、5割を超える方が「少ない」と回答した。

「わかりやすい」と評価する方と「わかりにくい」とした方が15%と11%となり、評価が分かれた。

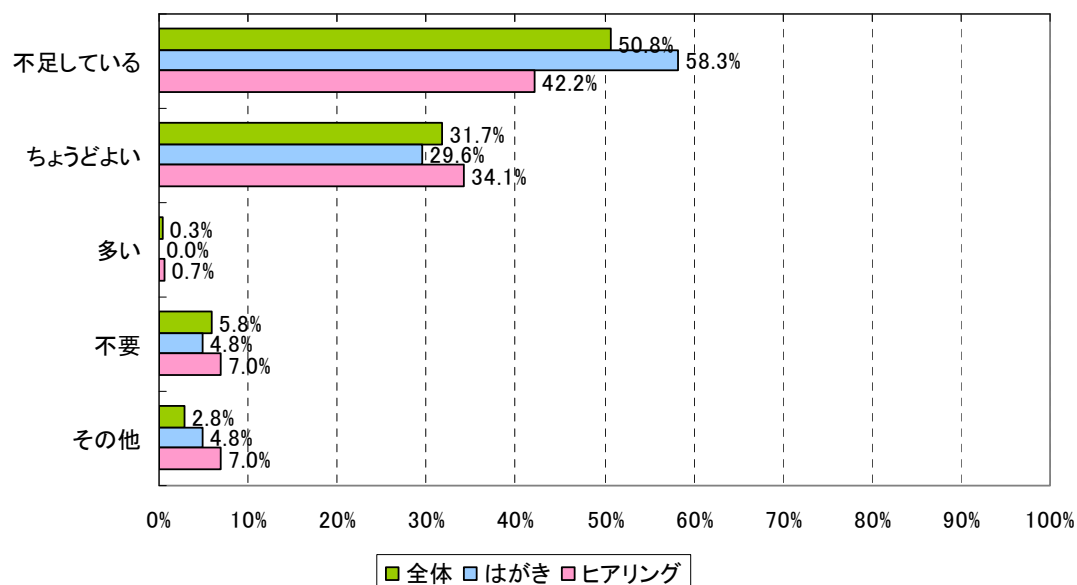
「わかりにくい」とした方にヒアリングで内容を伺ったところ、「案内が古くなり、表示が薄くなって見づらいから」とされた方が少なくなかった。



②休憩場所について

休憩場所が不足していると回答した方が5割と最も多くなり、ちょうど良いとした方が3割、不要とした人は1割未満となった。

ヒアリング回答者の中には、ご近所にお住まいの方が多くいたが、「自分達は近いから必要性を強くは感じないが、これからは遠くから来られる方も増えると思うし、そういった方々向けにもあったほうがいいのでは」という意見と、「散歩に来られている高齢の方にはあったほうがいいのでは」という意見が多く聞かれた。



(9) 見沼田圃の散策環境を向上するために必要なこと

①全体傾向

半数以上の方が「トイレ」をあげた。

次いで、「自動車と歩行者の分離」「ベンチ」「地図（案内板）の充実」「水のみ場」「自転車と歩行者の分離」の順となった。

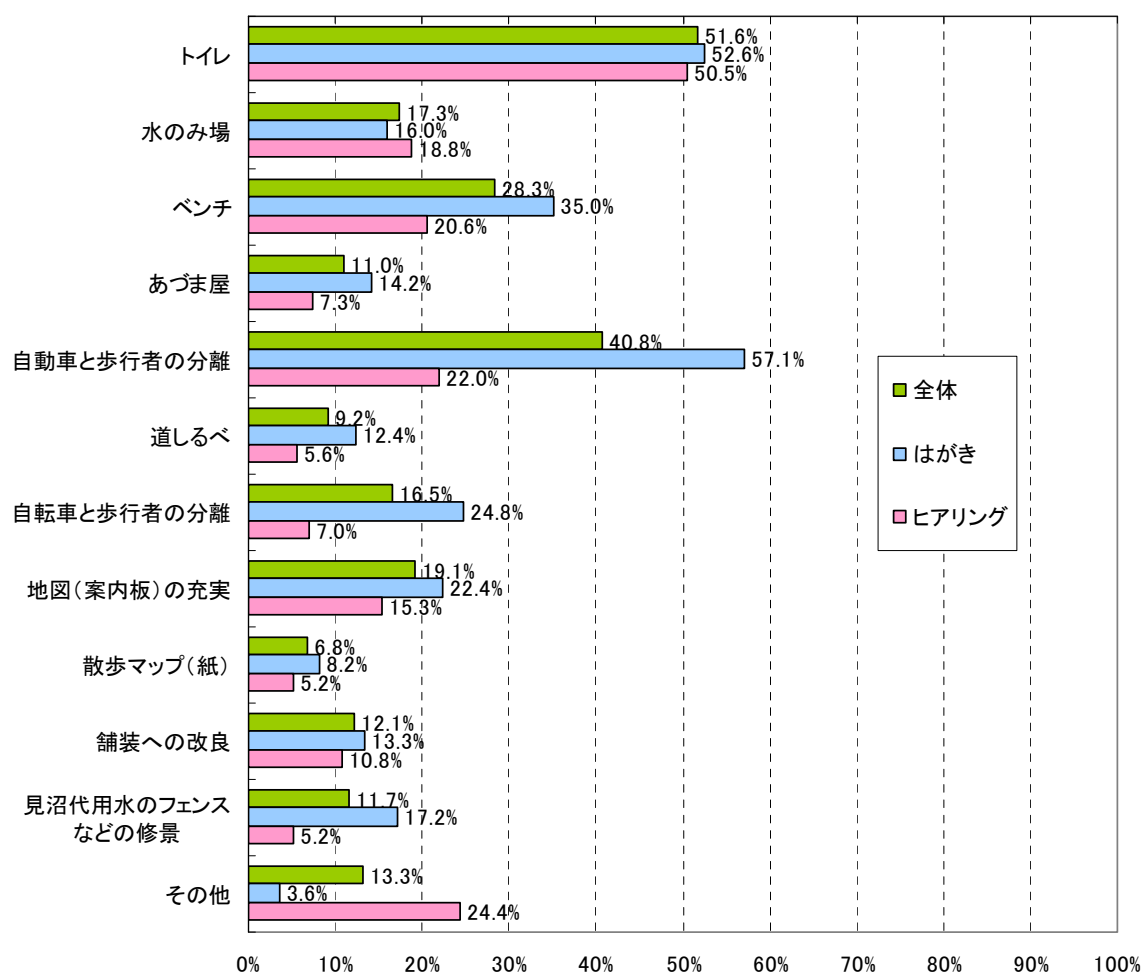
ヒアリングでは、「トイレ」については、前出の案内板と同様に、近隣にお住まいの方は「自分には必要ないが、遠くからこられた方には必要ではないか」や、男性の方が「女性の方には必要でないか」といった意見が多く聞かれた。

「自動車と歩行者の分離」については、今回の実験区間以外にも広げることを望む意見も多く聞かれた。特に、本実験区間については、車の通行可能な道路がすぐ東側にあることから、早期の実現を望む方が数多くいた。

「ベンチ」については、遠方からこられた方向けにというほか、高齢者の散歩には必要ではないかという意見も出されていた。

「水飲み場」については、「水は、ペットボトルで持ち歩けるから、個人では対応が難しいものを・・・」という意見も聞かれた。

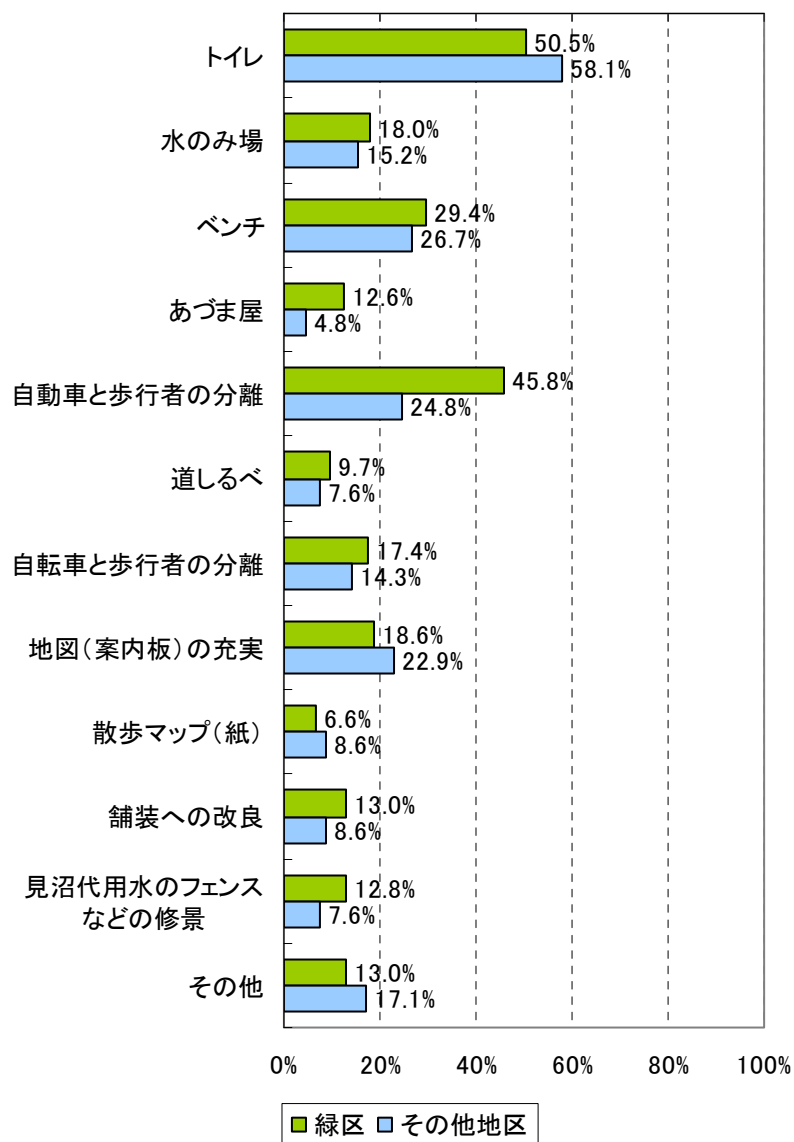
自転車と歩行者の分離については、「自転車が無音でかなりのスピードで追い抜かれて怖い思いをした」という、歩行者としての体験に基づく方と、自動車を運転していて自転車との錯そうを感じている方などもいた。



②居住地の違い

住んでいるところからの距離による違いを見るために、緑区と緑区以外の地域でわけたところ、トイレや地図（案内板）の充実について緑区以外の要望が高い割合となった。

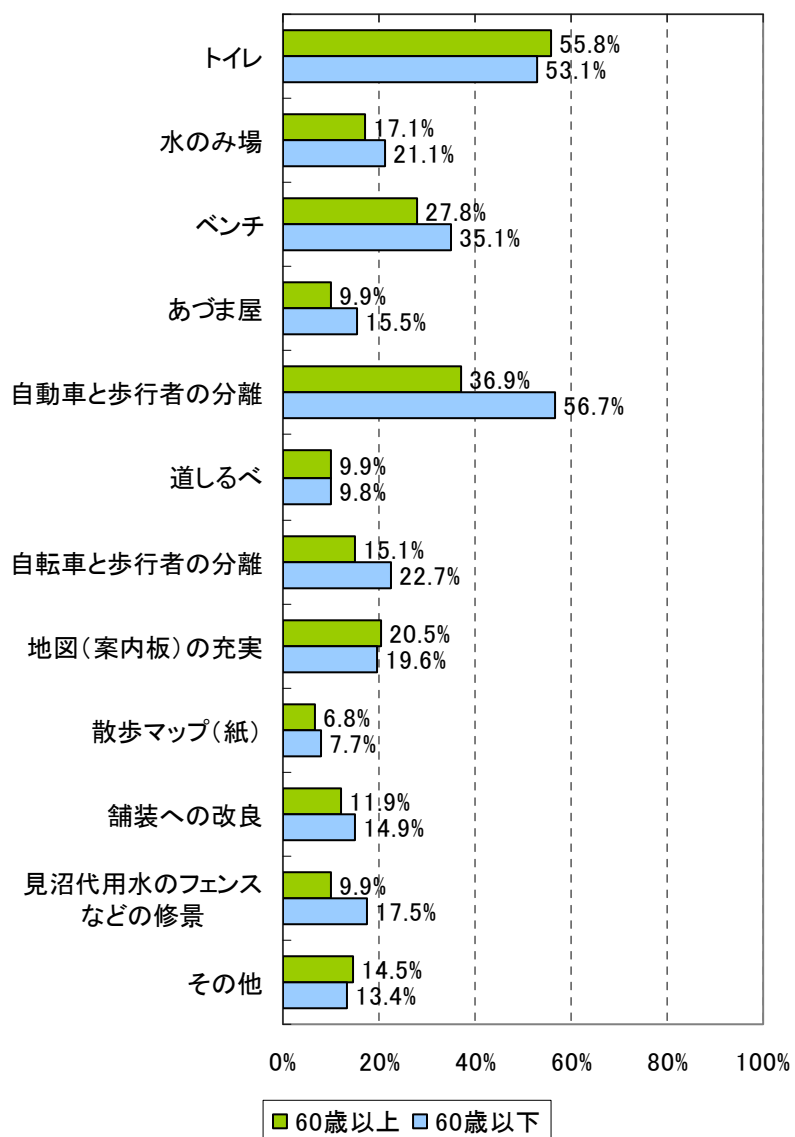
一方、緑区の方の割合が高くなったのは、自動車と歩行者の分離や自転車と歩行者の分離、舗装への改良、フェンスなどの修景となった。



④年齢による比較

年代による違いを比較するために 60 歳でわけて整理したところ、下図のとおりとなった。

自動車と歩行者の分離や自転車と歩行者の分離などで、60 歳以下のほうが割合が高くなった。



(10) その他“見沼田圃”に関してのご意見

自由意見欄には、概ね 450 通の意見が寄せられた。

概要を整理して以下に示す。

①自然について

【緑（草花）・樹木】（40件）

現状は、桜並木がきれいで環境がよい、四季折々の花が楽しめるという意見のほか、桜以外の花木が少ない、緑が減少してきている、雑草が多いという意見が多く出されていた。

改善してほしいことについては、草刈を頻繁にしてほしいという意見が多数あったが、中には草刈の時期を考えてほしい、花も一緒に刈らないでほしいという意見があった。

要望としては、緑の保全、もっと花を植えてほしい、雑草の管理をしてほしいとの意見が多くみられた。

【自然環境】（49件）

現状について、変わらぬ景色が良いという意見に対し、交通量が増えて住宅化が進んでいるとの意見もあった。

改善してほしいことについては、これ以上自然を壊さないでほしい、野焼きなどはやめてほしいという意見や、もっと田んぼらしく自然環境を大事にしてほしいという意見が多くあった。

草刈をする際に、ジャコウアゲハが育つ草を刈らないように配慮してほしいという意見もあった。

要望としては、自然をこのまま残してほしいという意見が多く、その中でも、自然を残しながらの遊歩道の整備を希望する意見も多くみられた。

【河川など】（10件）

改善してほしいことについては、見沼代用水をきれいに、芝川をもっときれいに、などのように、水質改善を望む意見がほとんどとなった。

要望としては、見沼用水に一年を通じて水を流してほしい、用水路管理をしっかりしてほしいという意見があった。

【虫など】（5件）

現状では、桜の木についている毛虫が気になるという声があり、この毛虫駆除をお願いしたいという意見が多くみられた。

【斜面林】（5件）

急速に斜面林が減ってきていることを指摘する意見があり、斜面林の保存や活用を望む意見が出されていた。

【周辺環境】（3件）

休耕地が多くなってきているので、有効活用をしてほしいという意見があった。

また、見沼田圃が生物多様性維持に役立っているという意見もあった。

②散策環境について

【環境整備】（４８件）

現状について、歩いて楽しめる環境であるとの意見が多くあった。

改善してほしいこととして、安心して歩けるようにしてほしい、魚釣りが危ないので禁止にしてほしいなどの意見があった。

現状のままがよいという意見が多く見られたが、安心して歩けるような散歩道の整備を希望する声が多くみられ、バリアフリー、健康散策コースの整備を望む意見も見られた。

【路面整備】（１７件）

現状について、石ころの道が歩きづらい、水はけの悪いところがあるなどの意見があり、砂利道やでこぼこ道の舗装への改良を望む意見が多くあった。

一方、むやみに舗装しないほうがよいとの意見も出されていた。

③交通について

【交通状況】（８５件）

現状は、歩道が狭いので車や自転車とのすれ違いが危ない、車はスピードを出している、遊歩道が車道を通る時に横断歩道がないので危険、車からゴミを捨てる人が多いなどの意見が多数あった。

今回の社会実験の箇所を通行止めにするると大変不便であるとの意見が１件あった。

全般的に、車両は通行禁止にしたほうがよいとの意見が多く出されている。

特に、今回社会実験をした箇所については車両通行止めが望ましいとの意見が多数ある。

また、桜並木にそった道はすべて車両の進入を制限してほしい、散策路は車が入れないようにしてほしいとの意見も多くあった。

【周辺環境】（６件）

農地が荒れていて見通しが悪いとの意見があった。

【道路整備】（８件）

道路が陥没しているところがあり、道路の改修を希望する意見があった。

一方、美しい自然が残っているので道路はあまり整備しないでほしいという意見も出されている。

【歩車分離】（１３件）

ゼブラゾーンがほしい、ウォーキングの人と自転車との区分もほしい、車・自転車・歩行者の区別ができるとよいなど、分離を望む声が多くみられた。

④利便性、施設

【標識・マップ】（２９件）

現状について、案内板が少ないので地元の人でないと分からないとの指摘が見られた。

古い案内板を新しくしてほしいとの要望が多く出されている。

その他、案内板の設置、花や木の標識、歴史や見所などの解説板、距離表示などがあるとよいとの意見があった。

また、マップを作成し駅や店舗などに置いてはどうかとの意見も出ていた。

【トイレ】（9件）

現状について、今のままでよいとの意見と、歩いていてトイレがほしいというのが実感であるという両面の意見が出されている。

トイレはあったほうがよいが、時として危険な場所になるので作るとなれば慎重を要するとの意見もあった。

【施設など】（10件）

茶屋などを作り、休憩や観光の拠点としたらよいのではないか、野菜の直売所があるとよいなどの意見が出されていた。

【休憩所】（12件）

休憩所がほしいとの意見のほか、休憩所を設置するのはいいがその後の管理が重要であるとの意見もあった。

【柵、フェンス】（4件）

フェンスの定期的な整備と、フェンスの脇に花壇や彼岸花などを植えてはどうかとの意見があった。

⑤防犯について

【周辺環境】（4件）

現在、田んぼが野放し状態で危険、木々がうっそうとして暗いという意見があった。

設備を充実させるとかえってたまり場になって危険なのではないかとの意見もあった。

【街灯、照明】（10件）

街灯をつけてほしいとの意見が多数あった。

⑥ゴミについて

【ゴミ・不法投棄】（42件）

現状について、見沼田圃はゴミが多く、ポイ捨てが多いとの意見が多く、車できてゴミを捨てていく人の対処、用水のゴミの撤去を望む意見があった。

ゴミ対策の徹底化を希望する意見は多数見られた。

⑦マナー、ルールなど

【マナー】（14件）

散策している人のマナーが悪い（犬の糞の始末など）が多いとの意見があった。

これにあわせて、ランニングや歩行者の左側通行の指導や、野焼きの禁止、糞の処理の提示などを望む意見があげられている

また、自転車のルール化や、犬の散歩のルール化などが求められていた。

⑧その他

【観光】（5件）

見沼田圃をもっとアピールして、観光として活用したほうがよいとの意見があった。

【見沼田圃全体】（10件）

のどかでよいところだが、地域住民の関心が少ないのではないかと指摘する意見があった。

せっかくいい財産があるのだから、生き生きと活用させ、学校の遠足を迎え入れたり、農業の若い後継者の育成などを実施していくことを望む意見があった。

5. 散策環境の向上について

アンケートやヒアリングの結果を概括すると、以下のとおりとなる。

- ・ 実験区間は、東側に自動車に対面走行可能な道路が整備されていることから、当該区間を自動車を通る必要性が低く、自動車通行止めの早期実現を望む意見が多数を占めた。
- ・ 見沼田圃全体についても、歩行者と自動車との錯綜による危険性を指摘する意見が多く、動線の分離を望む意見が多く出されている。
- ・ 実験区間以外でも、代用水沿いの道路について歩行者専用（自動車進入禁止）の早期整備を望む意見が少なくなかった。
- ・ 現地でのヒアリングは、ほとんど歩行者（自転車利用が極少数含まれている）を対象としたものであるが、自動車で見沼田圃を通行することのある方も少なくなかった。これらの回答者の多くが動線分離を望んでいることから、動線の分離はドライバーにとっても望ましいものであることが推察される。

このような結果を受けて、見沼田圃散策環境の向上にむけて、以下の7つの要素について検討を行った。

- ① 自動車と歩行者の動線分離、明確化について
- ② 自転車と歩行者の分離、事故防止について
- ③ トイレの整備について
- ④ ベンチ・あづまや・水飲み場の整備について
- ⑤ 地図（案内板）の整備について
- ⑥ 舗装材について
- ⑦ 健康増進のための整備について

(1) 自動車と歩行者の動線の分離、明確化

①検討の方向性

歩行者と自動車の動線分離を望む意見は多く、本業務の実験区間のみならず、全区間にわたって動線分離の可能性について確認、検討していくことが望まれる。

②留意点

芝川や既成市街地などと代用水の間隔が狭く、現状で代用水沿いを自動車が通らざるを得ないような箇所については、歩行空間を確保できる余地が他にないのかなども確認することが必要となる。(歩行空間を代用水沿いから離れたところに切りまわすことが考えられる)。

③調査・整理が必要な要素

- 見沼田圃基本計画区域内の自動車交通の現状 (交通量の確認)
- 代替路の確保の可能性確認 (現地視察により切り回しの可能性検討)
- 用地条件の整理
 - ◇ 既存道路用地で確保できない場合は、現状の代用水沿い道路を拡幅することなども考えられるため

(2) 自転車と歩行者の分離、事故防止

①検討の方向性

整備要望としては6番目であったが、近年、自転車利用者が急増する中、自転車事故が増加しており、自転車の安全管理は社会的な課題となっています。

埼玉県は、自転車保有率が全国1位であることも踏まえ、また、見沼田圃の観光振興を図る中ではレンタサイクルの導入なども考えられることから、自転車走行帯を確保していくことが検討する。

②留意点

自転車での利用は、長距離の移動経路として比較的高い速度で見沼田圃内を走行する利用者と、代用水沿いの道路などを中心に景色などを楽しみながらゆっくり走る利用者がいる。このため、それぞれの利用者ニーズに応じた整備が求められる。

例えば、自転車走行帯の区分表示や、代用水沿い道路では、舗装材を変えることで歩行者空間と自転車の走行帯を区別していくことなども考えられる。

③調査・整理が必要な要素

- 見沼田圃基本計画区域内の自転車交通の現状把握
- 自転車走行帯の確保の可能性検討（道路幅員や自動車動線の整理）

(3) トイレ整備

①検討の方向性

トイレは、整備要望が最も高い要素である。

既存施設の記載があるマップなども作成、配布されているが、維持管理の程度の差などもあり、女性や子どもが安心して利用するには、情報提供が不十分であることが推察される。

また、分布も均一ではなく間隔があいてしまうところもあり、散策客の不安感を解消するには不十分であると思われる。

②留意点

周辺の公共施設の利用可能時間や、女性や子どもの視線で安心して利用できるかなどの確認を、市民参加で調査するとともに、情報提供の在り方についても検討することが望まれる。

これらの調査、検討にもとづき、トイレの整備、情報提供を進めていくことが必要である。

③調査・整理が必要な要素

- 市民参加によるトイレチェック
- トイレ情報の提供の方法検討
- 新たなトイレ整備や、周辺施設との連携方法の検討

(4) ベンチ・あづまや・水飲み場の整備

①検討の方向性

ベンチは整備要望が3番目に高い要素である。

現状、周辺住民の有志により提供されているベンチ等もあり、比較的充実している区間もあるが、一方で大きく間隔があいてしまう区間もある。

今後、観光や健康づくりの視点も加えて来訪者を増やしていくためには、ウォーキングルートとして、利用者へのサービス水準を高めるために、大規模拠点が一定間隔で配置されるよう整備計画を定めていくべきである。

また、水飲み場については、ペットボトルなどの携行により個人で対応可能だという意見も出されていたが、手洗い場としての必要性もあることから、計画づくりの中であわせて配置を検討していくものとする。

②留意点

休憩所に必要な機能を整理し、既存の施設の機能と照合しながら、今後の整備水準(間隔や規模)を検討していくことが必要である。その際、ユーザーの歩行速度などを幅広い年代で想定し、適切な間隔等の基準を定めると良いと考える(高速道路のSAやPAの配置の考え方を参考とする)

③調査・整備が必要な要素

- 休憩拠点に求められる機能の整理
- 既存施設等の機能チェック
- 周辺店舗等の協力意向の確認
- 休憩拠点の整備計画(基準)づくり



憩いの場(加田屋風の廊下)(平成23年1月整備)

(5) 地図（案内板）の整備

①検討の方向性

ヒアリングでは既存の案内板の老朽化を指摘する意見が少なくなかった。また、駅周辺の案内板は、表示内容や大きさ、仕様などが異なるものが複数設置されている場合もみられる。

案内板は、見沼田圃専用とは限らないこともあり一該な整備は難しい点もあるが、既存の案内看板の更新などにあわせて、ユーザーに利用しやすい案内板を整備していくことが望まれる。

②留意点

既存施設の更新にあわせて改善を図っていくためには、記載情報の内容など一定の基準を定めた案内板の整備のガイドラインを決めておくことが必要である。

③調査・整備が必要な要素

- 既存の案内板の整備状況（見沼田圃内のみならず、周辺駅など主要動線上を含む）
- 既存案内板の記載情報確認
- 案内板整備のガイドラインづくり



整備された案内板と道しるべ



文字が消えかかっている古い案内板

(6) 舗装材の検討

①検討の方向性

舗装の検討は、整備要望では7番目であるが、高齢社会にむけてバリアフリーの観点などからも検討が必要な要素である。

実験区間では、市民病院の直近であることから車いすの利用も見られた。

未舗装区間に関する意見では、降雨後の状態の悪化を指摘する意見があり、舗装整備を要望する意見が見られる一方で、アスファルト舗装による桜など植物への影響（水分や空気の供給が悪くなることなど）を指摘する意見も出されている。

また、見沼田圃の自然保全の視点や足腰への負担の視点から、舗装でないほうが良いという意見も出されている。

例えば、土・木質チップ・アスファルト・ラバー舗装などの素材が考えられることから、一部区間を仮整備して実験していくことなども有効な検討手法である。

②留意点

多様な利用目的を想定し、それぞれに適した舗装材を選定するとともに、多様性への対応の工夫を図っていくことが求められる。

また、見沼代用水沿いの桜並木は、全国でも有数の規模を誇る観光資源であるが、路面の状況が桜の生育に与える影響も留意する必要がある。

③調査・整理が必要な要素

- 舗装材の特性や耐久性等の整理
- 各種舗装材による通行実験
- 桜や植物への影響調査

例) 北海道大学

獣医学部の前を通過する歩道と自転車道には木碎片を利用したウッドチップ舗装とラバー舗装の道が隣合わせで敷設されている。歩いてみると、足裏に弾みを感じるウッドチップ舗装は歩き易い。一方、自転車走行ではウッドチップは抵抗が強まり、レンガ色のラバー舗装の方が走り易い。緑の葉を茂らせた木立が続くこの舗装道路は、歩くのにも自転車でも快適な道路である。



(7) 健康増進のための整備

① 検討の方向性

利用者の中には、健康維持のためのウォーキングが多く見られた。さいたま市の調査によれば、市民が良く行うスポーツの第1位はウォーキング・散歩であり、今後の高齢社会の進行も考えると、ウォーキング等のニーズがますます高まっていくことが推察される。

【図表8】 よく行うスポーツ（上位5種目）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成22年 (n=2,079)	ウォーキング・散歩 33.2%	ゴルフ 15.2%	体操（軽い体操・ラジオ体操） 13.7%	筋力・ウエイトトレーニング 10.3%	ジョギング・ランニング 10.1%
平成15年 (n=2,513)	ウォーキング・散歩 34.8%	ゴルフ 15.9%	スイミング 15.4%	体操（軽い体操・ラジオ体操） 11.1%	テニス 9.3%

（資料：スポーツに関する市民意識調査〈平成15年、22年〉）

出典：「さいたま市スポーツ振興まちづくり計画」

このような中、四季の変化を楽しみながらウォーキングのできる見沼田圃へのニーズが高まるものと思われ、健康づくりのコースとしての整備も望まれる。

② 留意点

ウォーキングコースとしての必要機能や、市内の配置など、関連計画との整合が必要となる。

また、皇居外周などで問題となっているように、ランナーなどが増えることで、散策や自然観察などの利用者との軋轢が生じることも懸念される。

③ 調査・整理が必要な要素

- スポーツ振興まちづくり計画や、健康増進関連の計画との調整
- 健康増進施設としての機能の整理

6. まとめと今後の課題

見沼代用水西縁管理用道路について北宿橋～米原橋間の自動車通行止め社会実験を行い、周辺歩行者や居住者にアンケート調査を行ったところ、以下のことがわかった。

- ・周辺に居住している住民の多くの方が、見沼田圃を徒歩で訪れることがあり、その目的は散歩や健康づくりのためのウォーキングである。
- ・これらの利用者からは、見沼田圃内を安全に歩ける歩行空間の実現を望む意見が非常に多い。
- ・北宿橋～米原橋の区間は、直近に自動車を通れる道路が整備されており、当該区間を自動車通行止めにする事で著しい不便を被る人はきわめて少ないと推察された。
- ・散策環境の充実のために望ましい環境として、トイレ整備のニーズが最も高かった。
- ・休憩場所や案内板を少ないと感じている人も5割を超えた。

これらのことから、自動車の通行上の問題がない区間から、自動車通行止区間を設けて、安全に安心して歩行できる環境を整備していくことが望まれた。

一方、この実現のためには、以下のような調査・検討が必要である。

- ・自動車、自転車交通量の把握
- ・歩行者、自動車、自転車動線の検討
- ・トイレ等休憩施設や案内板の適切な配置
- ・舗装材等、整備水準の検討

現状でも一部区間では、地元有志による休憩ベンチの提供や、草花の管理などが行われているが、今後、散策環境を充実していくためには、住民の参画はますます重要となってくる。

したがって、前述した調査・検討を進めるに際しては、市民の参画をはかり、市民の関心を高めていくことが、将来にわたり、見沼田圃を大切に保全、活用していく機運の醸成につながるものと考えられる。

(参考資料) アンケート自由意見

※■部分は判読不明な文字

●自然について

【緑(草花)・樹木】

➤ 現状

- ・桜がきれいでよい
- ・環境的にはよい
- ・植物多くてよい。昔と変わらない
- ・緑が少なくなりとても残念です
- ・時期を見ながら草木等処理していただいているので大変有りがたく思っております
- ・見沼用水路沿いには、春に桜が満開になるが春以外の花木が少ない
- ・定期的に草刈りを行って頂きありがとうございます
- ・木や緑が、家等が建って失われて環境が失われている。雑草の■、見通しが悪い
- ・草で荒れている時がある。時期(季)
- ・花は昭和60年に植えた。100年の大樹。国や県がどう考えているか
- ・四季折々の花が楽しめる
- ・用水沿いの桜並木、秋の彼岸花等に、そして広々と開けた畑や田んぼ、とても素晴らしい場所だと思います。車道、自転車道、歩行車道を整備して市の宝として私達の宝として大切にしたいものと思います。行政も是非力を入れて保全をお願いします。協力させてもらいます
- ・見沼田圃が大好きです。この緑を守っていきたいです。

➤ 改善

- ・桜並木はいらない
- ・草、花を選別して好きな花だけ植えると自然が乱れる
- ・茂りすぎた植物が見通しを妨げないように
- ・彼岸花の季節。花の特性から、早めの「雑草」の刈り込みを。花ごと切り取られていた(ふれあい農園前付近)
- ・毎日、散歩・ウォーキングに西縁を利用しています。カンゾウや野の花を楽しんでいますので機械での伐採をせず、地元でのボランティアに声をかけて下さい。
- ・道沿いの雑草の手入れ■
- ・業者によって■■の差が出る。雑草のくじき、交通安全
- ・草刈りの時期を考えてほしい。花を一緒に刈ってしまう。せっかく花が咲くのにもったいない(かんぞうや彼岸花)
- ・緑がどんどん少なくなっていくのが残念に思う。残して行ってほしい!
- ・委託者が草刈りをし、そのあと市は見ていますか。雑で枯れた草を片付けず、毎年感じております。よく見た方がよい。必ず実行して下さい
- ・雑草が多いので見沼用水路左右雑草を刈ってほしい。定期的に美化

➤ 要望

- ・野草を育てるとよい
- ・並木の手入れ、道に花をもっと増やす。秩父に負けないように
- ・花もあつたほうが人も集まりそう。
- ・見沼代用水沿いの桜が続いているのは素晴らしいのでアピールをもっとしても良い
- ・民家は樹木等で遮っていただけたらなあと思います。素晴らしいところです。大切・にしたいですね
- ・雑草をもっと頻繁に刈っていただきたい(2件)
- ・草を刈ってほしい(夏場)
- ・雑草をとってほしい
- ・花等を植え自生させて下さい
- ・春の桜、夏の■、秋の曼珠沙華という様に季節ごとに花が咲くというのはどうでしょうか?
- ・もっと花を! 季節を通して人を集めるとよい
- ・人が増えた。緑地の保全を考えてほしい

- ・ 緑を減らさないように樹木もほどよく
- ・ 緑の保全をもっと考えてほしい
- ・ 用水に行政として花を植えて欲しい

【自然環境】

➤ 現状

- ・ 見沼大好き。変わらない景色がよい
- ・ 見沼田圃の道が東浦和からの抜け道化して三室中の前の交通量がすごく増えた様子です。西縁の住宅化が進み、少しでも緑を多く残してほしい。
- ・ 環境と■■は40年前は■■めだかがいた

➤ 改善

- ・ 自然を破壊しないで
- ・ これ以上橋を造ったり、道路を造ったりして緑や草花を削らないで欲しい。せっかく美しい土地なのだから。
- ・ 自然はいいけどもうちょっと手を入れてほしい。汚れている印象
- ・ 見沼田圃の景観を大事にした整備（むき出しのコンクリート、金網のフェンスはダメ）
- ・ 田園というくらいなのですから、稲田を道路■くらいでも良いですから作ってくださいかなり広く土地所有者に協力をお願いしてください
- ・ 見沼■保護公園の■■の草を刈り込んで歩行者が車道に出ないようにしてほしい
- ・ 車の排気ガスが桜によくないか
- ・ 環境の問題から野焼きはやめたほうが良い
- ・ ジャコウアゲハの草を刈ってしまう→自然環境を大事にする
- ・ 石碑などは自然をこわしている
- ・ 現状は、「見沼たんぼ」にふさわしくない。見沼たんぼに白サギや鳥類、虫を呼び戻すには水田の復活が必要。見沼畑だ

➤ 要望

- ・ 自然が残る散策路を希望します
- ・ 育ちの森幼稚園で放流しているホタルが1つの観光名所になると良いと思います
- ・ もっと自然を大事にした遊歩道とする
- ・ 散策場所や水路をもっとみんなできれいにしていきたい（自然保護）
- ・ 景観を守るよう、努めてください。
- ・ 自然環境は壊さずに
- ・ 見沼たんぼは後世に残したい緑地帯と思いますが、現状荒野が多く魅力が欠けていると思います。地図にのせる魅力的なスポットがほしい！！
- ・ 休耕田の活用
- ・ 自然を残しながら整備して欲しい→荒川の土手沿いのサイクリングロードはきれいになったが木を伐採してしまった。もったいない
- ・ 景観きれいに。桜の虫駆除
- ・ 役所がちゃんと世話をしてくれて自然のままがよい
- ・ 自然そのまま（2件）
- ・ 特に増やさず自然のまま
- ・ なるべく自然のままを大切に
- ・ 自然をできるだけ保存してほしい（2件）
- ・ これだけの自然がある場所はなかなかないので守ってほしい
- ・ 自然をこのまま残してほしい
- ・ すばらしい環境なのでいつまでも残してほしいです。
- ・ 自然をいつまでも維持していきたいと思います。美しい環境を！！
- ・ 素晴らしい見沼の自然を守って欲しい
- ・ 貴重な自然なので大切にしたい。
- ・ 必要な整備（安全、景観等）をしながら、ずっと残していきたい
- ・ あまり人工物は作らず、自然のままにしておいて欲しい。

【河川など】

➤ 改善

- ・ 代用水をきれいにしてほしい

- ・芝川は大きなポイントになる。ビオトープなど配慮した改修を
- ・芝川をきれいにして欲しい！！
- ・荒川をもっときれいに（川の中）。
- ・荒川の水の浄化について、早急に改善して下さい。今のドブ川のままで見沼田圃の■を■じるのはおかしい。
- ・魚釣りを禁止にしてほしい

➤ 要望

- ・見沼用水を一年を通じて水を流して下さい（近年そうになっている）
- ・川辺の■の管理（県だけど）
- ・用水路管理
- ・魚類の放流

【虫など】

➤ 現状

- ・桜の毛虫が気になる

➤ 要望

- ・毛虫の駆除してほしい
- ・桜の木の毛虫駆除をしてほしい。
- ・毛虫の駆除。2回消毒するとよい
- ・桜の木の消毒、雑草取り ケムシがいそうので木の下は歩けない

【斜面林】

➤ 現状

- ・斜面林が急速に減っています。保全しないと手遅れになります！！野鳥も住み家を失っています！！
- ・緑（斜面林など）がだいぶ減った

➤ 要望

- ・斜面林も活用
- ・桜のいたみがはげしい。斜面林も保存してほしい。
- ・保安林になっている斜面林の開発が進んでいるので、市での買上げ等を望みたい

【周辺環境】

➤ 現状

- ・荒地が多くなった。
- ・生物多様性維持に大きく役立っている

➤ 要望

- ・休耕地が多い もう少し有効に利用すべき

●散策環境について

【環境整備】

➤ 現状

- ・今のままでよい。人工的にならないほうがよい
- ・カメやコイや水鳥などいやしがある。ただ歩く（運動）だけでなく、楽しみがあるところが良い所だ
- ・ほぼ毎日、決まったコースを歩いている。こういう散策環境があるのはとても良い。
- ・はじめて歩いたが、とてもよい。また来たい
- ・あづま屋が出来ているが利用者はいない。社会実験は不要、危険でない。むだな税金を使わず、やることに別にある。
- ・見沼代用水西縁は知人、孫とも日常散歩コースで歩きます。春夏秋冬ステキな所です。自慢できる場所です

➤ 改善

- ・荒川沿い県のロードは景観がダメ。整備がされすぎる。テーマを決めて（人、花とか）
- ・荒川のサイクリングロードの工事が進まない。ずっと昔から進まない。自転車で通れるようになると楽
- ・安全に散歩できるようにしてほしい
- ・サイクリングロードを作ってほしい
- ・散歩できる（安心して）道にしてほしい。車の分離はぜひ願いたい。

- ・芝川沿いに自転車道を作ってほしい。
- ・芝川のサイクリングロードをもっと充実してほしいです。
- ・芝川の遊歩道の階段は少なく！
- ・砂利道は自転車で走りにくい
- ・西と東の行き来がしにくい。一般道を通るしかなくて困る
- ・氷川公園の池が汚い
- ・見沼代用水西縁は高い所としたに道路が平行しているので桜並木は全部歩行者、自転車のみにして頂きたい。
- ・魚釣り危ない さおが人に当たったりする可能性ある。 禁止すべき
- ・河川敷の耕作を勝手にするな。今のままで十分・ネコを勝手に捨てるな→カモが減る。フェンスを新しくするとネコが通り抜けて、カモが殺されてしまう
- ・西縁の馬場付近の用水路際を家庭菜園の様に耕作しているのを禁止すべき
- ・見沼大用水脇の土手部分を個人（何者か）が野菜等を栽培しており、とても汚く見苦しいのでやめさせるべきである。（誰が許可しているのか？）

➤ 要望

- ・安心して通れるように
- ・このような素晴らしい自然環境を安心して歩けるように早くしてほしい
- ・桜並木があるのだからちゃんとした散歩道にした方がよい
- ・桜並木もきれいです。今度新しい遊歩道も桜並木になればいいなあと思います。
- ・芝川■岸の堤防上の遊歩道の整備は上々。■岸の整備、堤防下の歩道整備もよろしく
- ・芝川の歩道をつなげてほしい
- ・出来れば遊歩道、散策が出来る景観も作り憩いの道を希望
- ・西縁と東縁が途中でつながるような
- ・ベビーカーや車イスで散策する方の為にバリアフリー部分を考慮願います。
- ・歩行者専用の散歩道がもっとあるとよいと思う
- ・歩行者や弱者のプライオリティーを大切にされた環境づくりをのぞむ
- ・もう少し水辺の道を歩けるといい
- ・遊歩道にしてほしい
- ・高齢社会の中、植林等の整備により、変化に富んだ健康散策コースを設けて欲しいです。
- ・私立病院とのコミュニケーション
- ・活動団体が木崎のようにまだできてない。もし発足したら活動できる人もいないのではな
いか
- ・現状のまま（3件）
- ・前のままがよい
- ・ベンチ以外はなるべく手を加えるな
- ・手を加えないでほしい
- ・田舎らしさを大切に残してほしい。あまりに整えすぎると田舎らしさがなくなり、そのあたりはむずかしいですね
- ・現状のまま、みんなの「いこいの場」にしてほしいです
- ・できれば現在の広さだけでものこして欲しい
- ・小さくエリアを決めて、学生、シルバー等のボランティアを募集したらどうか？

【路面整備】

➤ 現状

- ・石ころ道は歩きづらい→下の道を通る
- ・舗装の道（砂利道など）雨の後のみずたまり、水はけの悪い所がある
- ・道もでこぼこ。

➤ 改善

- ・砂利は歩きにくく舗装されていることが望ましい
- ・舗装を土にした方がよい！桜の育成にとってもコンクリートはよくない
- ・舗装されている方が歩きやすい。砂利だと水たまりができる
- ・デコボコ道を舗装（2件）
- ・でこぼこ、舗装の■で歩きやすいように
- ・とにかく道が悪い。舗装への改良は是非やって欲しいです。

- ・舗装ではなく砂利道でなく歩きやすいもので考えて下さい。(舗装はサクラの根に悪い)
- ・全部砂利道でもいいくらい。
- ・Q4、4■に舗装への改良が必要。馬場より北宿通りへの道が早くできれば不便は感じないのです

➤ 要望

- ・舗装→桜の木にも悪い
- ・歩きやすい道になると良いなと思う
- ・むやみに舗装しなくてよい。凸凹残してよい。
- ・入院患者の散歩コース安全にしてほしい

●交通について

【交通状況】

➤ 現状

- ・花見など桜のときは車は危ない
- ・荒川の歩道は幅員が狭いので自転車とすれちがいが怖い
- ・子供の送迎に自転車、自動車が良く通る。道路あるところはそっちを通る
- ・安全のためにも信号がある道を車は行くべきだ。何故この道を車が通るのかわからない！
- ・東縁は狭い。車が通る、危ない所がある
- ・速度制限がない。自動車の不■。小型■
- ・自転車のすれ違いが危ない
- ・遊歩道が車道を渡るとき横断歩道がない。車は止まらない。
- ・車椅子の子どもと散歩に出かけます。車が通る度、ヒヤヒヤします。車通りの少ない道を選ぶと未舗装の道。キレイな桜を安全快適な道で見たいものです。
- ・自動車と自転車が多く危険です
- ・犬と共によく歩いていますので、車は入って来ない方がゆっくり歩けます。
- ・「一般車輛通行止め区間」で2度、自動車と軽い接触と幅寄せをされた。今は、フェンス側は歩かない。
- ・今話題にしているよりも北（旧大宮側）の畑や空地沿いの道路に信号がなく、車が猛スピードで走っているのが危険（2件）
- ・道中の狭い場所では、車がスピードを落さないため、大変危険です。
- ・車と■がいることが多い
- ・車できた人はごみを捨ててく
- ・車が入ってくる
- ・■が通行止めになる川がある
- ・他地域からの車
- ・今回、通行止めにした区間が使えないと大変不便です
- ・朝8:00ごろ抜け道として使う車が多い。ホテルを放してもムリだと思っていた。
- ・毎日通勤で図の下の道を通るようにしていますが、自転車がも多く毎日危険を感じています。車のモラルも悪く挨拶もなくあたり前の様に通り過ぎていきます。自分も車の運転ですので、気をつけていこうと思っています。
- ・毎日通勤に通らせて頂いています。臨時グランドの通りに中央線が無く皆さんスピードを出しているのではぶないので通らせていただいています
- ・車からゴミをすてる。見ても平気なよう
- ・農耕車優先道路といわれますが、実際は一般道路のように車が往来。危険箇所には是非交通標識をつけてほしい。現実に事故が起きていますので。大きな事故にならない為にも。

➤ 改善

- ・桜並木通りだけでも自動車通行禁止にしないと散策環境として不便
- ・車両通行止めになれば車椅子での散歩ができます（94歳の母の為に）
- ・北宿橋で米原橋の自動車通行止めはよいと思います。
- ・自然や歩行者保護のための車両通行止めにするべき
- ・北宿通りに信号が出来て以来タクシー、トラック等通行止め区間に車が多く大変不快に感じています（特に花■等）。是非■は通行止めにして頂きたい
- ・車の通行が多い道との交差点の標識を明確にして欲しい

➤ 要望

- ・向■■も■■■速度制限 30km
- ・すれ違いであいさつくらいするべき。安全な道路にするべき。■■■■■■■、幅寄せもしてくれる。
- ・車を通すようにするなら制限速度を 20km 以下にするなど。
- ・車のためより自転車や歩く人のため
- ・用水沿いの散歩道は歩行者専用とし、自転車の進入を禁止する（3件）
- ・安心して散策ができる歩行者専用レーンができるよう望みます
- ・車のスピードを制限する
- ・今回通行止めにした区間は以前から車両通行止めにした方が良いのではと考えていた所なので、よいことだと思いました。
- ・すぐ傍に平行するように道路があるので、車輛を通行禁止にして、歩行者通路にしても車輛にとって不便はないと思う。抜け道として通行される危険性が減ると思う。
- ・車両通行止めにした方が良くと思う。北側に道路が有る為、車はそこを通行すべきだと思う。
- ・回遊できる道路にする。オープンにする。駐車場をつくって桜を PR して多くの人が来れるようにする
- ・桜の時期に車で通れるのも貴重。車も通行できるような工夫があるとよい
- ・馬場、■■■■自動車道が早く開通すればよい
- ・自動車は大きな通りを通るべき
- ・農業用道路なのではないが、止まれの標識があるといい。越谷に抜ける道を使う
- ・田圃の中のほかの場所でこのごろ大型車がとくに多くなり危ないと思うことが多々あります。大型トラックの通行止めはできないものか？
- ・桜の季節は例外的に高齢・病弱者の乗った車の徐行運転を認める
- ・北宿橋～米原橋間は人の通りが比較的多いので車の通行を禁止するのがよい
- ・今回の実験で車輛の通行止めをした区間について。特に夜間、バカみたいにとぼす車が多い。散歩などで歩いていると非常に危険を感じる。早急に車輛の通行止めを実施した方がよい
- ・車の進入禁止、通行止め（7件）
- ・車をぜひ通行止めに。抜け道を整備
- ・ぜひ、車禁止に！！気にしないで歩いてよい。ふだんおちついて歩けない
- ・朝晩、車が多く危険に感じる。常に通行止めにしてほしい
- ・今回車通行止めの区間は用水縁で屈指の環境のよいところである。早急に車の通行を全面的に止めてほしい
- ・第二産業道路からの抜け道として家の前の細い道にダンプが通ることがあるので見沼用水あたりの所々にある普通車がギリギリ通れるポールの設置場所をもっと増やしてほしい。
- ・見沼散策路は車が入れないようにしてほしい。
- ・見沼代用水の道を自動車が通れないようにしてほしい、危ないから！
- ・桜の季節等はもう少し広範囲での通行止めをしていただきたい
- ・見沼代用水沿いの道は、全て車輛通行止めにした方が良くと思います。
- ・車が近づいていても、今ハイブリッド車など音が静かな車が多くなりウォーキングをしていて気が付かない事があります。ぜひ用水沿いは車両通行止めにしてください
- ・車の通行止めで桜の保護に良い
- ・以前から車と人の並行はキケンと感じていた。ぜひ車輛止めにして下さい
- ・朝 6：45～7：15 毎日 4～5 人で桜並木を歩いています。北宿橋→米原橋の間自動車がスピードで速く走りあぶないです。1 年中通行止めにして下さい
- ・短い距離なので通行止めにしてほしい。毎日歩いています
- ・社会実験感謝、通行禁止願いたい
- ・大道橋周辺（■■街道交差点第 2■■下）代用水散歩道を通してください
- ・1 部車道を横切るところで歩行者が危険を感じるので改善を
- ・車の通行が多く、子どもを連れて安心して歩けない。車通行禁止区間を多く設けてほしい。

- ・完全な散策路として、桜並木に添った道はすべて車輛の進入制限をしてほしいと思います。
- ・私立病院そばの芝川にグリーンロードが出来よく利用しています。残念なことは橋の部分です。一部橋げたを取りはずして一本道につなげてほしいです。
- ・一日車、バイクの通行止めにしてほしいです（2件）
- ・思い切って一般車輛を通行止めにして欲しい。今回の区間、路上駐車等ありとても危険である
- ・今回の通行止めの区間は、今後も全面的に一日中通行止めにして下さい。あぶないです
- ・病院下の道路早朝ジョギング者多数いるので車は止めるべき
- ・建造物は無駄、必要ない
- ・自転車、歩行者はお互い譲り合いとマナーで十分
- ・道を広げたり、必要以上に人工的にしないこと

【周辺環境】

➤ 現状

- ・農地 荒地見通しが悪い
- ・先日、ホテルを見に行きました。通行止めは仕方ないかなと思います

➤ 要望

- ・桜の保護の為に、車を通行止めにした方がいい
- ・桜の木がコンクリートの道路と排気ガスなどで痛んでいる。自動車進入禁止を100%お願いします
- ・桜並木の土の道にも車が入って休憩しているのでやめてほしい
- ・あまり観光化してほしくない←交通の便わかりやすく

【道路整備】

➤ 現状

- ・道路が陥没している事がある

➤ 改善

- ・十字路の■の改善
- ・馬場折返場から北宿道路を早期に開通すると自動車、自転車の通行がなくなると思う
- ・道路の改修

➤ 要望

- ・舗装はしなくて良い
- ・美しい自然が残っているのに道路の整備が余り良くない。
- ・厚沢食堂の横の道ができれば見沼田圃を通る車が減り、散策環境もよくなるのでは
- ・北宿通りの横断歩道ないところの横断が常々危ないと思います。グランドわき道路の道幅を広くしていただきたいと思います

【歩車分離】

➤ 要望

- ・自転車とレーン
- ・ゼブラゾーンがほしい。車道との交差
- ・ウォーキング 自転車との区分もほしい
- ・交通機関の充実・西高のほうの歩行者と自動車の分離
- ・自転車と歩行者の分離
- ・残してほしい場所です。できれば、車、自転車人の区別できる道を！
- ・子供も散歩をする事があるので、車と歩道を分けて欲しい。
- ・人、車混在道路の速度制限、人優先区域の設定も検討ください
- ・自動車と自転車、歩行者の分離が必要と思います。
- ・車道と歩道を分離し、安心して歩けるようにお願いします（できれば自転車も分離）
- ・今回通行止めにした区間をはやく歩行者専用にしてほしい。あぶないです。
- ・歩行者、自転車の専用とし、自動車の通行を禁止してほしい
- ・この道路を自動車は通行禁止とする。

●利便性、施設

【標識・マップ】

➤ 現状

- ・道を聞いてくる人が多い。道しるべ、案内板が少ない地域がある
- ・案内板が少ないから、地元の人でないとうっかりとわかりづらいところがある

➤ 改善

- ・案内分かりやすくしてほしい（初めて来た人）
- ・古い案内板を新しい物に
- ・自然を守るため人工的な物は最小限に
- ・桜の時期などはとてもきれいであるのに、案内板やマップが充分でなく人があまり集まっていないのはもったいない。行きたいと思わせる環境を！
- ・目が悪く見にくいので、大きめの看板。植物の名称がほしい
- ・地図が見づらい。キロ表示（距離）をわかるようにしてほしい
- ・木陰がない。休憩場所や距離表示がない（案内標識の充実）
- ・説明板がこわれたあと取り払われてしまい新しいものがないところがある。メインの道ばかりでなく田圃の中にも道しるべがほしい
- ・標識いらない

➤ 要望

- ・このあたりは詳しくないので道案内があると良い
- ・標識、ガイド、歩行者地図
- ・マップ作成
- ・km表示があるとよい
- ・簡単マップで商店に100円くらいで置くといい。神楽坂を参考に
- ・植物の案内板、案内プレートがあったら良いと思う
- ・案内板、歴史が書いてある。■生などの説明があるとよい
- ・止まれ表示があるとよい
- ・見沼田圃なら高沼のある風景と絵になる散歩マップが都内から来た人に良い
- ・道しるべの充実
- ・見沼の自然などをとり上げたハンディな冊子があるとよい
- ・散策ポイントの案内や説明表示
- ・歴史散歩、見所を明確にする（東浦和から大宮氷川神社まで）
- ・見沼の歴史と昔の暮らしなどの解説板、マップも
- ・不法投棄連絡先（TEL）の表示板設置
- ・歴史、役割など案内表示
- ・図書館でマップの配布を行ってほしい
- ・花の標識がほしい
- ・レンタサイクルあればいい。手軽にマップがあれば→駅にあるといい

【トイレ】

➤ 現状

- ・私は、現況で良いと思う。ただQ4→トイレを増設してほしい
- ・何しろ歩いていてトイレがほしいというのが実感です

➤ 要望

- ・トイレがきれいなのがほしい。春・秋に週2回程歩く。
- ・高齢者はよろけることがある。高齢者が多い。トイレ大変。両側に手すりがあるとよい
- ・トイレは置くと後が大変
- ・レンタサイクルの活用
- ・トイレ
- ・西高の付近にトイレがあるとよい
- ・トイレは時には危険な場所となる恐れがありますので慎重を要します
- ・トイレは女性が一人では危険。多ければいいわけではない。

【施設など】

➤ 要望

- ・茶屋などがあれば休憩もできるし、観光地としてよくなるのではばいか→安全性（ひったくり）等、人がいる安心感もある
- ・はやりの道の駅のようなもの（大崎事業所では小さい）イベントのときの出店のよう
- ・果物や野菜の直売所などがあっても楽しみと思う

- ・活気あふれる野菜直売所のような所があったら嬉しいです
- ・用水縁公園風にしてほしい。フェンスをなくし、斜面をゆるやかにして。遊歩道や古民家カフェや見沼用水資料館などつくってほしい
- ・北宿通りと岩槻通りにはさまれた見沼田圃地域には市民が集える場所がないので、子供の遊べる広場やドッグランを作ってください
- ・大きい公園を、いい所
- ・自販機あると良い
- ・全体を公園にしてもらいたい（もちろんさいたま市ものも）
- ・人工的な建造物をなくしてください。

【休憩所】

➤ 現状

- ・ベンチなど、多ければいいわけではない。管理する必要性

➤ 要望

- ・階段等に手すり、ベンチとテーブル、花壇の手入れ、こんなに力を入れているのに頭が下がります。ありがとう。
- ・休憩所は若者が集まりそうで危ない。
- ・トイレもベンチも北宿橋の付近に作る。ポケットパークができればちょうどいいのではないのでしょうか。
- ・雷雨など、雨宿りができるといい
- ・ポイントで案内板、トイレ、ベンチがあればよいがあまり手は加えない方がよい
- ・休憩所がほしい
- ・休憩所にベンチ程度でよいと思います。あずま屋等はいらない。
- ・休む場所がほしい。
- ・年代的に休む場所が必要です
- ・トイレ・休憩場所など設置するのはいいが、その後の管理（清掃など）をしっかりとやって欲しい。また、新しいものの設置よりも、雑草・枯れ枝の撤去をもっと頻繁にしたほうがキレイにみえて快適
- ・トイレ、水のみ場、ベンチ、あずま屋など浮浪者や不審者が集まりそうで怖い。

【柵、フェンス】

➤ 改善

- ・フェンスの手直し

➤ 要望

- ・花壇を作る
- ・フェンス彼岸花にも！
- ・フェンスの整備を定期的に

●防犯について

【周辺環境】

➤ 現状

- ・木が怖い、一人だと歩きづらい
- ・田圃が野放し状態、危ない
- ・見沼田圃の代用水の周辺の木々がうっそうとして暗い

➤ 要望

- ・設備を充実させると、暴走族などがたまりやすくキケンが増えるのでは？

【街灯、照明】

➤ 要望

- ・カメラ、街灯
- ・夜明るい方が
- ・ライト必要
- ・お願い！！夜も最近是人通り多く外灯がないのでキケンです。設置していただきたいです。
- ・夜は真暗なので明かりがほしい（3件）
- ・外灯をつけてほしいです（2件）
- ・見回り

●ごみについて

【ゴミ・不法投棄】

➤ 現状

- ・ゴミすて
- ・ゴミ（空き缶などが目立つ）
- ・ゴミが多い（4件）
- ・ゴミを捨てる人が多い（バイクなど）「ゴミを捨てるな」の看板に効果がない
- ・生活ゴミのポイ捨てが気になる。
- ・見沼田圃はゴミが多い（2件）
- ・畑の湧水路にゴミが沢山入っている
- ・夜間車両で進出しゴミ等の不法投棄が散見される
- ・ゴミ問題（2件）
- ・ゴミの不法投棄が非常に多い。
- ・あと桜の季節になるとゴミが沢山出ます。我々地域住民の負担をふやさないで欲しいです。
- ・不法投棄のゴミが多く汚い。個人のモラルの問題だが何とかならないかと思う（2件）
- ・ゴミが多い（特に粗大ゴミ）
- ・ゴミの散乱もひどいもの！
- ・荒地となっている場所があり、ゴミが捨てられている。個人所有なので整理できない問題が多々あるようだ。
- ・ゴミが景観を損ねる

➤ 改善

- ・車できてゴミを捨てるのをやめてほしい（2件）
- ・不法投棄、ポイ捨てが大分減ったけどもっと良くなるとうい
- ・ゴミ捨て禁止→子供のうちから教育する
- ・ゴミは少なくしてほしい。
- ・用水のゴミの撤去

➤ 要望

- ・粗大ゴミ等の徹底化
- ・不法投棄されるゴミの取り締りの強化（2件）
- ・不法投棄ゴミの回収、防止
- ・用水路の掃除、ゴミ払いなど。
- ・川底のゴミを全て取り除いて下さい。子供の頃、川はきれいで生活ゴミは捨てられていません（2件）
- ・ゴミ管理をしっかり
- ・ゴミ捨て等の強烈的な意識付け
- ・土手の雑草を掃除・廃棄して下さい！
- ・ゴミをきれいにしてほしい
- ・大型ゴミが多い。定期的に掃除できないか
- ・不法投棄のゴミが目立つ。監視カメラ等の設置が望ましい。
- ・通行人に関して一般の方がゴミ捨て防止にもなると思います。

●マナー、ルールなど

【マナー】

➤ 現状

- ・桜並木を道の散歩できて幸せ。車と歩行者それぞれが思いやる気持が大切
- ・マナーが悪い（2件）
- ・犬の毛をとかしたのがかたまって捨ててあり気味が悪い。飼い主は家でやってほしい
- ・川の土手の方に犬の散歩に来る人のマナーが悪い→車で遠方から来る人

➤ 改善

- ・■■の自転車のマナー向上
- ・マナーの向上
- ・ランニング及び歩行でも左側通行の指導をしてほしい。
- ・野焼き、火を燃やすのをやめてください。

➤ 要望

- ・自転車のルールを！
- ・犬の散歩の禁止。飼い主は気にしていないようですが、周りが迷惑。場合により交通事故の可能性

【犬の糞】

➤ 現状

- ・砂利の道のところは犬のフンが目立つ
- ・犬の糞のしまつがされていない
- ・ゴミ、犬のフン、持帰り推進。日本人はある面でモラルに欠けている

➤ 要望

- ・犬を連れた人が多い。糞の処理の提示をして欲しい

●その他

【観光】

➤ 要望

- ・もっとアピールして人が来るようにすればよい
- ・観光スポットとしての利用 観光として活用しないともったいない
- ・見沼の事をもっと回覧板などで宣伝してほしい。
- ・季節毎の風景がとてもきれいなので環境を整えてもっとアピールし地域経済もうるおえぼと思う

【見沼田圃全体】

➤ 現状

- ・のどかで静かでとても住み良い所です
- ・住民の関心が少ない
- ・さいたま市は見沼田圃の自然を残したいのですか？公園にしたいのですか？

➤ 要望

- ・宝の持ち腐れのように感じる。自分達の地域をもっと生き生きとさせたい
- ・学校の遠足などで行くようにすればいいと思います。
- ・見沼田圃を守るには、農業で生計が成り立ち若い後継者の育成が必要と思う
- ・土砂集積場の禁止
- ・見沼田圃の今後の展開等
- ・見沼田圃を大切に残し、次の世代に引継ぎすることを望みます
- ・春や秋など、サイクリングやお花見に出掛けます。このような取り組みはぜひ続けて下さい。

【その他】

➤ 現状

- ・よく道を聞かれる
- ・ホームレス
- ・時々全裸の男性（50代）がいる
- ・このアンケートの機会を受けたこととてもうれしく思います
- ・見沼田圃のとなりに住んでいますが、自分の家のまわり以外の場所まで散歩に行きません。どこまで行くとどのくらい時間がかかるのか不安なので。

➤ 要望

- ・ウォーキング、犬の散歩などで利用しています。見沼田圃独自の放射線量を調べてほしい。特に緑が多い場所なので心配です。

発行日／平成23年11月

発行／さいたま市

編集／さいたま市 都市局 都市計画部 みどり推進課

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4

TEL 048-829-1413



さいたま市